空き家改修工事（松岡邸）

図　面　リ　ス　ト

NO	TITLE	NO	TITLE
A-01	特記仕様書（1）	A-21	改修　矩計図（4）
A-02	特記仕様書（2）	A-22	現況　展開図（解体撤去図）（1）
A-03	特記仕様書（3）	A-23	現況　展開図（解体撤去図）（2）
A-04	特記仕様書（4）	A-24	現況　展開図（解体撤去図）（3）
A-05	特記仕様書（5）	A-25	現況　展開図（解体撤去図）（4）
A-06	特記仕様書（6）	A-26	改修　展開図（1）
A-07	特記仕様書（7）	A-27	改修　展開図（2）
A-08	付近見取図・配置図	A-28	改修　展開図（3）
A-09	仕上表	A-29	改修　展開図（4）
A-10	現況　平面図	A-30	現況　天井伏図
A-11	改修　平面図	A-31	改修　天井伏図
A-12	現況　立面図	A-32	耐震補強　平面図
A-13	改修　立面図	A-33	現況・改修　木製建具表（1）
A-14	現況　矩計図（1）	A-34	現況・改修　木製建具表（2）
A-15	現況　矩計図（2）	A-35	現況・改修　金属製建具表
A-16	現況　矩計図（3）	A-36	改修　金属製建具表（新設ｱﾙﾐｻｯｼ）
A-17	現況　矩計図（4）		
A-18	改修　矩計図（1）		
A-19	改修　矩計図（2）		
A-20	改修　矩計図（3）		

特記仕様書（建築改修工事編）

Ⅰ 工事概要

1．工事場所　高知県安芸郡芸西村西分甲2805番地5　（都市計画区域　内・外）

2．敷地面積　153.05 ㎡

3．構造・規模　木造平屋建

4．建築面積　　㎡　　5．延床面積　71.74 ㎡

6．主要用途　住宅（空き家）

Ⅱ 建築改修工事仕様

1．共通仕様

（1） 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和４年版）」（以下、「改修標準仕様書」という）により、改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和４年版）」（以下、「標準仕様書」という）による。

（2） 電気設備改修工事及び機械設備改修工事を本工事に含む場合は、電気設備改修工事及び機械設備改修工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお、電気設備改修工事の仕様書は(　)図、機械設備改修工事の仕様書は(　)図による。

（3） 受注者は完了検査（中間検査を含む）の検査には、特定行政庁（建築主事等）が求める検査に必要な書類等（報告書等）を用意すること。

2．特記仕様

（1） 項目は、⊙印の付いたものを適用する。

（2） 特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。
⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙印と※印の付いた場合は、共に適用する。

（3） 特記事項に記載の[　.　.　]内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（4） 特記事項に記載の(．．)内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（5） G 印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）の特定調達品目を示す。判断基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」（環境省のホームページからダウンロード可能）による。

（6） 標準仕様書又は改修標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により（条例を含む）抵触する場合には、関係法令等の遵守[1.1.13]の規定を優先する。

1 各章共通事項

⊙適用基準及び区分

※ 建築工事監理指針（上下巻）　国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和４年版）
※ 建築工事標準詳細図　国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和４年版）
・ 鉄骨設計標準図　国土交通大臣官房官庁営繕部監修
・ 鉄骨工事技術指針　工場製作編　工事現場施工編　日本建築学会
※ 建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事等編）
※ 建設副産物適正処理推進要綱
※ 建築材料等評価名簿　国土交通大臣官房官庁営繕部監修
※ 工事写真撮影ガイドブック　建築工事編及び解体工事編　国土交通大臣官房官庁営繕部監修

・ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画書として提出する。
区分等　基準風速　Vo=（　　）m/s　地表面粗度区分（・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ）
積雪区分　建設省告示第1455号　別表（　　）

・電気保安技術者　・適用する　・適用しない　[1.3.3]

⊙施工条件　施工時間帯　※指定なし　・指定有り（　　）　[1.3.5]
部位別の施工順序　※指定なし　・指定有り（　　）

⊙発生材の処理　・引き渡しを要するもの（　　）　[1.3.12]
・特定管理産業廃棄物（種類：　　処理方法：　　）
・現場において再利用を図るもの（　　）
・再生資源化を図るもの（・コンクリート塊　・アスファルトコンクリート塊　⊙建設発生木材）
※廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。

⊙材料の品質等　[1.4.2]

本工事に使用する材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS 及び JAS マーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の１）から６）の事項を満たすものとする
１）品質及び性能に関する試験データが整備されていること
２）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
３）安定的な供給が可能であること
４）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること
５）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
６）販売、保守等の営業体制が整えられていること
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料、又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。
ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。
また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品及び同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承認を受けること。
製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ、平成19年3月30日付け18高建管第881号「土木部発注工事で使用する木材の合法性の確認について（通知）」による証明書等を、監督職員に提出する。

⊙石綿含有建材の調査　調査　[1.5.1]
※ 石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。
貸与資料（　　）

・ 分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、
クロシドライト、トレモライト

分析方法

材料名	定性分析 (JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2)	定量分析 (JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4)
石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	・箇所数(　　)	・箇所数(　　)
	・箇所数(　　)	・箇所数(　　)
	・箇所数(　　)	・箇所数(　　)
	・箇所数(　　)	・箇所数(　　)

サンプル数　１箇所あたり３サンプル
採取箇所　・図示　・天井材（仕上表備考欄）

・施工数量調査　調査項目　・防水改修　・外壁改修　・（　　）　[1.6.2]
調査範囲　※図示
調査方法　※テストハンマーによる打診及び目視　・図示
外壁調査は、外壁改修フローに対する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量（幅、長さ、面積）の調査を行う。
また、その報告書は、結果を立面図等に記載し集計表を添えて監督職員に２部提出する。
（必要に応じ写真等を添付する）

・調査のための破壊部分の補修　既存部分の破壊を行った場合の補修方法　※図示　[1.6.3]

・技能士　[1.7.2]

工事種目	技能検定職種	技能検定作業の種別
仮設工事	とび	・とび作業
防水改修工事	防水施工	・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業 ・ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業 ・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業 ・塩化ﾋﾞﾆﾙ系ｼｰﾄ防水工事作業　・ｾﾒﾝﾄ系防水工事作業 ・ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業　・FRP防水工事作業 ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄﾄｰﾁ工法防水工事作業 ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ常温粘着工法防水工事作業
	建築板金	・内外装板金作業
外壁改修工事	樹脂接着剤注入施工	・樹脂接着剤注入工事作業
	左官	・左官作業
	ﾀｲﾙ張り	・ﾀｲﾙ張り作業
建具改修工事	ｻｯｼ施工	・ﾋﾞﾙ用ｻｯｼ施工作業
	ｶﾞﾗｽ施工	・ｶﾞﾗｽ工事作業
	自動ﾄﾞｱ施工	・自動ﾄﾞｱ施工作業
内装改修工事	建築大工	・大工工事作業
	内装仕上施工	・鋼製下地工事作業
	建築板金	・内外装板金作業
	内装仕上施工	・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上げ工事作業　・ｶｰﾍﾟｯﾄ系床仕上げ作業 ・木質系床仕上げ工事作業　・ﾎﾞｰﾄﾞ仕上げ工事作業 ・化粧ﾌｨﾙﾑ工事作業
	熱絶縁施工	・吹付け硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱工事作業
	表装	・壁装作業
	左官	・左官作業
	ﾀｲﾙ張り	・ﾀｲﾙ張り作業
塗装改修工事	塗装	・建築塗装作業
耐震改修工事	鉄筋施工	・鉄筋組立て作業
	型枠施工	・型枠工事作業
	ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送施工	・ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送工事作業
	鉄工	・構造物鉄工作業
	とび	・とび作業
環境配慮改修工事	配管	・建築配管作業
	路面表示施工	・溶融ﾍﾟｲﾝﾄﾏｰｶｰ工事作業　・加熱ﾍﾟｲﾝﾄﾏｰｶｰ工事作業
	造園	・造園工事作業

・室内空気中の化学物質の濃度測定　施工完了時に室内空気中のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ、ｽﾁﾚﾝの濃度を測定し、報告すること　[1.7.9]
測定対象室及び測定箇所数　※図示（仕上表備考欄）　・（　　）か所

⊙室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策
※屋内に使用する材料は、揮発性有機化合物（ＶＯＣ）の放散による健康への影響に配慮し、次の条件を満たすものとする。

対象建築材料等	使用制限
①合板、木質ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ、構造用ﾊﾟﾈﾙ、集成材、単板積層板、MDF、ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ、ﾕﾘｱ樹脂板、壁紙、緩衝材、断熱材、仕上げ塗材	F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする
②塗料	ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｱｾﾄｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｽﾁﾚﾝ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝを含有していない水性系のものとする
③木材保存剤（防腐処理、防蟻処理等）	ｸﾛﾙﾋﾟﾘﾎﾘｽ、ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ、ﾌｪﾉﾌﾞｶﾙﾌﾞを含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防腐・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する
④内装用接着剤、木工事用接着剤	１）ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｱｾﾄｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｽﾁﾚﾝ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝを含有してないものとする ２）ﾌﾀﾙ酸ｼﾞ-n-ﾌﾞﾁﾙ、ﾌﾀﾙ酸ｼﾞ-2-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする
⑤家具、書架、実験台、什器、化粧洗面台、流し台	①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆は同等品を使用する

室内に関わる材料は（上記①～⑤及び建具、ｼｰﾙ材、その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む）については、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｱｾﾄｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｽﾁﾚﾝ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ、ﾌﾀﾙ酸ｼﾞ-n-ﾌﾞﾁﾙ、ﾌﾀﾙ酸ｼﾞ-2-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙ、ｸﾛﾙﾋﾟﾘﾎﾘｽ、ﾀﾞｲｱｼﾞﾉﾝ、ﾌｪﾉﾌﾞｶﾙﾌﾞの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。

⊙完成時の提出図書
※完成図（配置図、各階平面図、各立面図、断面図、仕上表）ＣＡＤデータ（CD-R）とも
記入内容は標準仕様書 表1.7.1による。仕上表には、ﾒｰｶｰ名及び品番、色番号等を記入する。
※施工計画書　（A4ファイル綴じ　提出部数：１部）
※施工図　（CADデータ　提出部数：１部）
※保全に関する資料　（提出部数　※１部　・　部）

※工事写真・完成写真　写真データ（CD-R）とも

区分	分類規格	提出部数	部数
着工前及び工事中	カラー　※サービス版	工程毎	１部
完成時	カラー　※キャビネ版	枚	部
	カラー　・全紙版（ｱﾙﾐ額縁入）	枚	部
	・	枚	部

工事写真については、隠蔽となる部分は全て撮影すること。
デジタル写真の仕様は1 適用基準及び区分の工事写真撮影ガイドブックによる。
※上記の他、完成写真内外６面程度（カラーサービス版）、及びその画像データを完成検査時に１部提出する。
※電子納品とする場合は、「高知県電子納品運用に関するガイドライン工事編」により、予め監督職員と協議を行う。

⊙特別な材料の工法　標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

・見本施工　・行う（内容　　）　※行わない

⊙施工図及び施工計画書　提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。

・設備工事との取り合い　設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

施工範囲		区分
梁貫通部の補強		※本工事　・別途工事
梁貫通部のスリーブ		・本工事　※別途工事
自動開閉装置を取付ける防火戸の切り込み補強及びﾄﾞｱｰﾁｪｯｸ、ﾌﾛｱﾋﾝｼﾞ		※本工事　・別途工事
天井埋込型器具の取付箇所の下地軽量鉄骨の切込み及び補強		※本工事　・別途工事
軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地		・本工事　※別途工事
埋込形分電盤、消火栓等の仮枠及び補強	仮枠	・本工事　※別途工事
	補強	※本工事　・別途工事
照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート		・本工事　※別途工事
電気室、自家発電室などのピット（蓋含む）		※本工事　・別途工事

⊙撤去部分　ｺﾝｸﾘｰﾄ、ﾓﾙﾀﾙ等の撤去部分の項目は、原則としてﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞｶｯﾀｰ切りとする

2 仮設工事

⊙足場等　[2.2.1]
足場を設ける場合、改修標準仕様書2.2.1によるほか、設置においては、「手すり先行工法に関するガイドライン」別紙１（手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準）における２の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。
外部足場に設ける防護シート等
・養生シート※JISA8952のⅠ類に適合するもの
(建築工事用シートでシートだけで落下物の危害防止に使用できるもの)
・防音シート　・採光防音シート　・養生ネット

⊙既存部分の養生　既存部分の養生方法　※ﾋﾞﾆﾙｼｰﾄ等　・（　　）　[2.3.1]
既存家具等の養生方法　※ﾋﾞﾆﾙｼｰﾄ等　・（　　）
既存ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ、ｶｰﾃﾝ等の養生方法及び保管場所　・図示（　　）
固定された備品、机・ﾛｯｶｰ等の移動　・行う（図示：　　）

・仮設間仕切り　仮設間仕切り等の種別　[2.3.2][表2.3.1]

種別	下地	仕上材（厚さ mm）	充てん材	塗装
・A種	・木下地 ※軽量鉄骨	※せっこうボード（※9.5　・　） ・合板　（※9.0　・　）	厚さ mm	・片面 ※無し
・B種	・木下地 ※軽量鉄骨	※せっこうボード（※9.5　・　） ・合板　（※9.0　・　）		・片面 ※無し
・C種	単管下地	防災シート		
・仮設扉	※木製扉	※合板張り程度　・		※無し
	・鋼製扉	※片面フラッシュ程度　・		・有り

・監督職員事務所　・設ける　[2.4.1]
・構内に新設する（規模及び仕上げの程度、並びに設置する備品等の種類及び数量は現場説明書（施工条件明示）による）
・既存建物内の一部を使用する（場所　　）
※設けない

⊙工事用水　構内既存の施設　※利用できる（　※有償　・無償）　・利用できない

⊙工事用電力　構内既存の施設　※利用できる（　※有償　・無償）　・利用できない

空き家改修工事（松岡邸）

特記仕様書（建築改修工事編）（１）

鈴江章宏建築設計事務所
香美市土佐山田町山田1654
一級建築士事務所 高知県知事登録 第1133号
鈴江章宏　一級建築士 第312930号
神野崇　一級建築士 第293221号

A01

3 防水改修工事

・降雨等に対する養生方法(とい共)　※改修標準仕様書3.1.3(5)(ｱ)～(ｳ)による　・（　　）　[3.1.3]

・既存防水の処理

既存保護層の撤去　・行う　（範囲　・図示　・　　）　[3.2.3、4、6]
既存防水層の撤去　・行う　（範囲　・図示　・　　）
立上り部の防水層撤去　・行う（・POS　・POSI　・M4S　・M4SI　・S4S　・S4SI）
既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去　・行う（・M4AS　・M4ASI　・M4C　・M4DI　・L4X）

・既存下地の処理　既存下地の補修箇所、範囲、数量等　・図示　・（　　）　[3.2.6]

・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水　押え金物　※アルミニウム製　L-30×15×2.0 (mm)　・（　　）　[3.3.2]

屋根保護防水　[3.3.2～5][表3.1.1][表3.3.3～6]

工　法	種　別	施工箇所	断熱材 G	絶縁用シート	立上り部の保護
・P2A	・A－1 ・A－2 ・A－3			※ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ 厚さ0.15mm以上 又はﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ 70g/㎡程度 ・	・乾式保護材 ・れんが押え ・ｺﾝｸﾘｰﾄ押え
・P1B	・B－1 ・B－2				
・P2AI	・AI－1 ・AI－2 ・AI－3		厚さ　・25mm ・	※ﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ 70g/㎡程度 ・	
・P1BI ・T1BI	・BI－1 ・BI－2				

屋根露出防水　[3.3.2～3][表3.1.1][表3.3.7～9]

工　法	種　別	施工箇所	断熱材 G	備　考
・M4C	・C－1 ・C－2 ・C－3 ・C－4			
・M3D ・P0D	・D－1 ・D－2			脱気装置　・設ける 改修用ﾄﾞﾚﾝ　・設ける
・P0DI ・M3DI ・M4DI	・DI－1 ・DI－2		種類　・ 厚さ　・25mm ・	脱気装置　・設ける 改修用ﾄﾞﾚﾝ　・設ける

脱気装置の種類及び設置数量　※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の指定による
・（種類：　　、数量　　個／㎡）
屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ周り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
・（　　）　・図示

屋内防水　[3.3.2～3、5][表3.1.1][表3.3.10]

工　法	種　別	施工箇所	備　考
・P1E ・P2E	・E－1　(工程３・行う) ・E－2		保護層　・設ける

屋上排水溝　・適用する

・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ防水　[3.4.2、3]

工　法	種　別	施工箇所	備　考
・M4AS	・AS－T1		
	・AS－T2		
	・AS－J2		
・M3AS	・AS－T3		脱気装置　・設ける　・設けない 改修用ドレン　・設ける　・設けない
	・AS－T4		
	・AS－J1		
・P0AS	・AS－T3		脱気装置　・設ける　・設けない 改修用ドレン　・設ける　・設けない
	・AS－T4		
	・AS－J1		
	・AS－J3		
・M3ASI ・M4ASI	・ASI－T1		脱気装置　・設ける　・設けない 改修用ドレン　・設ける　・設けない
・P0ASI	・ASI－J1		防湿層　・設ける　・設けない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による　・（　　）
脱気装置の種類及び設置数量
※改質アスファルトシートの製造所の指定による　・種類（　　）　・設置数量（　　）個
押え金物　※アルミニウム製　L-30×15×2.0 (mm)程度　・（　　）
断熱材 G (ASI-T1、ASI-J1の場合)　種類　・（　　）　厚さ　・25mm　・（　　）
仕上塗料
種類　※改質アスファルトシートの製造所の指定による　・（　　）
使用量　※改質アスファルトシートの製造所の指定による　・（　　）
高日射反射率防水の適用 G　・適用する

・合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水

絶縁用シート　※発泡ポリエチレンシート　・（　　）　[3.5.2]
断熱材 G (SI-F1、SI-F2、SI-M1、SI-M2の場合)
種類　・（　　）　厚さ　・25mm　・（　　）

[3.5.2～3][表3.1.1][表3.5.1～2]

工　法	種　別	施工箇所	厚さ(mm)	分　類	仕上塗料	備　考
・P0S ・S4S	・S－F1		※1.2　・	※非歩行 ・軽歩行 ・	・カラー ・シルバー	脱気装置 ・設ける 改修用ドレン ・設ける
	・S－F2		※2.0　・			
	・S－M1		※1.5　・			
	・S－M2		※1.5　・			
・S3S	・S－F1		※1.2　・	※非歩行 ・軽歩行 ・	・カラー ・シルバー	脱気装置 ・設ける
	・S－F2		※2.0　・			
・M4S	・S－M1		※1.5　・	※非歩行 ・軽歩行	・カラー ・シルバー	脱気装置 ・設ける
	・S－M2		※1.5　・			
・P0SI ・S3SI ・S4SI ・M4SI	・SI－F1		※1.2　・	※非歩行 ・軽歩行 ・	・カラー ・シルバー	脱気装置 ・設ける
	・SI－F2		※2.0　・			
	・SI－M1		※1.5　・			
	・SI－M2		※1.5　・			

脱気装置の種類及び設置数量　※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の指定による
・（種類：　　、数量　　個／㎡）
防湿用フィルムの設置（SI-M1、SI-M2の場合）　・適用する

屋内防水　[表3.5.3]

工　法	種　別	施工箇所	備　考
屋内保護 密着工法	・S－C1		工程4のモルタルの塗厚　・　mm

既存防水層下地が PCコンクリート部材の場合（接着工法）　[3.5.4]
目地処理　・行う　（工法　　）
増張り　・行う　（S-F1、　SI-F1 の場合）

・塗膜防水　[3.6.2、3][表3.1.1][表3.6.1～3]

工　法	種　別	施工箇所	備　考
・P0X	※X－1 ・X－2 ・X－1H ・X－2H		脱気装置　・設ける 改修用ﾄﾞﾚﾝ　・設ける
・L4X	・X－1 ※X－2 ・X－1H ・X－2H		脱気装置　・設ける
・P1Y	※Y－2		保護層　・保護モルタル　・（　　）
・P2Y	※Y－2		保護層　・保護モルタル　・（　　）

脱気装置の種類及び設置数量　※主材料の製造所の指定による
・（種類：　　、数量　　個／㎡）

ｼｰﾘﾝｸﾞ　シーリング改修工法の種類　[3.1.4][3.7.2、3、7、8]
⊙シーリング充填工法　・シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法　・ブリッジ工法
シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
外部仕上取合	MS-2

シーリング面への仕上塗材仕上げ等　・行う　⊙行わない
ブリッジ工法　ボンドブレーカー張り　・適用する
エッジング材張り　・適用する
接着性試験　※簡易接着性試験　・引張接着性試験（部位　　）

・とい　といその他の材種　・配管用鋼管　[3.8.2、3]
・硬質ポリ塩化ビニル管　（※RF-VP G　・VP）
・（　　）
ルーフドレン

種　類	材　種	施工箇所
・ろく屋根用（・縦型　・横型）		
・バルコニー用		
・バルコニー中継用		

防露材のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量
※「1(各章共通事項)　室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策」による
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法　・（　　）　・図示

・ｱﾙﾐﾆｳﾑ製笠木　種　類　・オープン形式（・押出250形　・押出300形　・押出350形）　[3.9.2、3]
・シール形式（板材折曲げ形）
板材折曲げ形の場合　本体幅（　　mm）　板厚（※2.0mm　・　　）
役　物　・適用する
表面処理　種別・・AB-1種又はBB-1種　・BB-2
着色　・標準色　・特注色
工　法
既存笠木等の撤去　・行う　（範囲　・　　・図示）
下地補修の工法　・（　　）　・図示
板材折曲げ形の笠木の取付方法　・（　　）　・図示

・防水保証期間　期間は（　　）年とし、請負業者、施工業者、製造業者の３社連名の保証とする。

4-1 外壁改修工事(ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上げ外壁)

・ひび割れ部改修工法　※樹脂注入工法　[4.1.4][4.2.4～7]

種　類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300　・	※130　・
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※ 50～100　・	※ 40　・
	0.3以上～0.5未満	※100～200　・	※ 70　・
	0.5以上～1.0未満	※150～250　・	※130　・

注入状況の確認方法　・コア抜取り検査　抜取り部の補修方法：　図示　・（　　）
・（　　）

・Uカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料　※1成分形又は2成分形ポリウレタン系　・（　　）
ポリマーセメントモルタルの充填　・行う
・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂

・欠損部改修工法　※充填工法　[4.1.4][4.2.4、8]
・エポキシ樹脂モルタル　・ポリマーセメントモルタル

4-2 外壁改修工事(モルタル塗り仕上げ外壁)

・ひび割れ部改修工法　※樹脂注入工法　[4.1.4][4.3.5～8]

種　類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300　・	※130　・
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※ 50～100　・	※ 40　・
	0.3以上～0.5未満	※100～200　・	※ 70　・
	0.5以上～1.0未満	※150～250　・	※130　・

注入状況の確認方法　※コア抜取り検査　抜取り部の補修方法：　※図示　・（　　）
・（　　）

・Uカットシール材充填工法
・シーリング材充填
充填材料　※1成分形又は2成分形ポリウレタン系　・（　　）
ポリマーセメントモルタルの充填　・行う
・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂

・欠損部改修工法　※充填工法　[4.1.4][4.3.9、10]
・エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル

・モルタル塗替え工法
・現場調合材料
・既調合材料
既製目地材　・使用する（形状　・図示　・　　）
仕上げ厚又は全塗厚が 25mm を超える場合の処置　※図示　・（　　）

・浮き部改修工法　[4.1.4][4.3.11～16]

改修工法の種類	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの本数(本/㎡) 一般部	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの本数(本/㎡) 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 指定部	注入量 (箇所/ml)
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	――	――	※25 ・
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・
・アンカーピンニング 全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・
・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝｸﾞ 部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	――	――	※25 ・
・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝｸﾞ 全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング 全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・
・充填工法					
・モルタル塗替え工法					

アンカーピンの材質等
※ステンレス鋼（SUS304）呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの　・（　　）

注入口付アンカーピンの材質等
※ステンレス鋼(SUS304)呼び外径6mm程度　・（　　）

空き家改修工事（松岡邸）

特記仕様書（建築改修工事編）（２）

鈴江章宏建築設計事務所
香美市土佐山田町山田1654
一級建築士事務所
高知県知事登録 第1133号
鈴江章宏　一級建築士 第312930号
神野崇　一級建築士 第293221号

A02

充填工法
・エポキシ樹脂モルタル　・ポリマーセメントモルタル　・ポリマーセメントスラリー

モルタル塗替え工法
・現場調合材料
・既調合材料
既製目地材　　・使用する（形状　・図示　・　　）
仕上げ厚又は全塗厚が 25mm を超える場合の措置　※図示　・（　　）

4-3 外壁改修工事（タイル張り仕上げ外壁）

・既存タイル張りの撤去

・外壁タイル張り全面　・図示の範囲
撤去範囲　※下地モルタルまで　・張付けモルタルまで　・タイルのみ

・ひび割れ部改修工法

改修箇所　※既存タイル張り面　[4.1.4][4.4.5、6]
・既存タイル撤去面（　・コンクリート面　・モルタル面　）

※樹脂注入工法

種　類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300　・	※130　・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※ 50～100　・	※ 40　・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200　・	※ 70　・
	0.5以上～1.0以下	※150～250　・	※130　・

コア抜取り検査　※行う　・行わない
抜取り個数　※長さ500mごと及びその端数につき1個　・（　　）
抜取り部の補修方法　※図示　・（　　）

・Uカットシール材充填工法（既存タイル張り撤去面）
・シーリング材充填
充填材料の種類　※1成分形又は2成分形ポリウレタン系　・（　　）
ポリマーセメントモルタルの充填　・行う　・行わない
・可とう性エポキシ樹脂

・欠損部改修工法

・タイル部分張替え工法　[4.1.4][4.4.5～8]
張付け用材料の種類　・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系

・タイル張替え工法
張付け用材料の種類　・張付けモルタル（・現場調合材料　・既調合モルタル）
・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
位置　※改修標準仕様書　表4.4.2による　・図示　・（　　）

外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着力試験　・行う　・行わない
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理　・目荒らし工法　・（　　）
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
タイル張りの工法
外装タイル　※密着張り　・改良圧着張り
ユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り
・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地　※ポリウレタン系　・（　　）
伸縮調整目地その他の目地　※変成シリコーン系　・（　　）

・浮き部改修工法　[4.1.4][4.4.5、9～15]

改修工法の種類	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの本数(本/㎡) 一般部	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの本数(本/㎡) 指定部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口の箇所数(箇所/㎡) 指定部	注入量 (箇所/ml)
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	――	――	※25 ・
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・
・アンカーピンニング 全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・
・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ 部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	――	――	※25 ・
・注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ 全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・
・注入口付アンカーピンニング 全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・
・注入口付アンカーピンニング ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入ﾀｲﾙ固定工法	・	・	――	――	※25 ・
・タイル部分張替え工法					
・タイル張替え工法					

アンカーピンの材質等
※ステンレス鋼（SUS304）呼び径4㎜の丸棒で全ネジ切り加工したもの　・（　　）
注入口付アンカーピンの材質等
※ステンレス鋼(SUS304)呼び外径6㎜程度　・（　　）

・タイル部分張替え工法
張付け用材料の種類　・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系

・タイル張替え工法
張付け用材料の種類　・張付けモルタル（　・現場調合材料　・既調合モルタル）
・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地
位置　※改修標準仕様書　表4.4.2による　・図示　・（　　）

外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着力試験　・行う　・行わない

下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理　・目荒らし工法　・（　　）

・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
タイル張りの工法
外装タイル　※密着張り　・改良圧着張り
ユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り

・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地　※ポリウレタン系　・（　　）
伸縮調整目地その他の目地　※変成シリコーン系　・（　　）

・目地改修工法

・目地ひび割れ部改修工法　[4.1.4][4.4.5、16]
・伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地の位置及び寸法　※図示　・（　　）

・タイルの形状、寸法等

タイルの形状、寸法等　[4.4.5、8]

施工箇所	形状寸法 (mm)	再生材の適用 G	吸水率による区分 I類	II類	III類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 あり	なし	色 標準	特注	耐凍害性 あり	なし	耐滑り性
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
見本焼き　・行う（施工箇所：　　）　※行わない
試験張り　・行う（範囲、仕様等は図示　　）　※行わない

4-4 外壁改修工事（仕上塗材仕上げ外壁等改修）

・既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整　[4.5.4]

工　法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	※既存仕上げ面全体　・図示	4-1～4-3による
・高圧水洗工法	※既存仕上げ面全体　・図示	
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上げ面全体　・図示	
・水洗い工法	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ・図示	

・下地調整塗材　[4.5.2]
※下地調整塗材（※C－2　・C－1　・CM－2）
・ポリマーセメントモルタル

・仕上塗材仕上げ

新規仕上塗材の種類　[4.1.5][4.5.2][表4.5.1]

種　類	呼び名	防火材料	仕上げの形状
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si	・	・砂壁状
	・可とう形外装薄塗材Si	・	・ゆず肌状（・吹付け　・ローラー塗り）
	・外装薄塗材E	・	・さざ波状　・平たん状
	・可とう形外装薄塗材E	・	・凹凸状（・吹付け　・こて塗り）
	・防水形外装塗材E	・	・着色骨材砂壁状（・吹付け　・こて塗り）
	・外装薄塗材S	・	・砂壁状じゅらく　・京壁状じゅらく
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C	・	・吹放し　・凸部処理　・平たん状
	・外装厚塗材Si	・	・凹凸状　・ひき起こし　・かき落とし
	・外装厚塗材E	・	上塗材　・適用する　・適用しない
・複層仕上塗材	・複層塗材CE	・	・ゆず肌状　・凸部処理　・凹凸状
	・可とう形複層塗材CE	・	耐候性　※耐候形1種　・
	・複層塗材Si	・	上塗材
	・複層塗材E	・	溶　媒　※水系　・溶剤系　・弱水溶系
	・複層塗材RE	・	樹　脂　※アクリルシリコン系
	・防水形複層塗材CE	・	外　観　※つやあり　・つやなし
	・防水形複層塗材E	・	・メタリック
	・防水形複層塗材RE	・	※防カビタイプ
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E	・	・平たん状　・さざ波状　・ゆず肌状
	・可とう形改修塗材RE	・	耐候性　※耐候形3種　・
	・可とう形改修塗材CE	・	上塗材
			溶　媒　※水系　・溶剤系　・弱水溶系
			樹　脂　※アクリル系
			外　観　※つやあり　・つやなし
			・メタリック

・ﾏｽﾁｯｸ塗材塗り　種　別　・A種　・B種　[4.1.5][4.6.2][表4.6.1]

・外壁用塗膜防水材塗り　[4.1.5][4.7.2、3][表4.7.1]
仕上げの形状　・凹凸状　・凸部処理　・ゆず肌状　・さざ波状
耐候性　※JIS A 6909 耐候形1種　・（　　）
下地挙動緩衝材　・適用する
模様材の種類及び所要量　・（　　）　・図示
外壁用仕上塗料の種類と所要量　・（　　）　・図示

5 建具改修工事

・改修工法　[5.1.3]

建具の種類		かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
・アルミニウム製建具		・	・	※図示　・
・樹脂製建具		――	・	※図示　・
・鋼製建具	・外部	・	・	※図示　・
	・内部	・	・	※図示　・
・鋼製軽量建具		・	・	※図示　・
・ステンレス製建具		・	・	※図示　・
・木製建具		・	・	※図示　・

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方　※図示　・（　　）
新規建具周囲の補修工法及び範囲　※図示　・（　　）

・防火戸　建具符号（　　）　[5.1.4]
防火戸、ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動　・適用する

・見本の製作等　建具見本の製作　・行う　（建具符号：　　）　[5.1.5]
建具見本の程度　・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
・納まり等がわかる程度
特殊な建具の仮組　・行う　（建具符号：　　）

・防犯建物部品　※適用する　（　　）　[5.1.7]

⊙ｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具　性能値等　[5.2.2～5][表5.2.1、2]
・外部に面する建具の性能等級　⊙A種　（S－4、A－3、W－4）　（建具符号：AW101～104　）
・B種　（S－5、A－3、W－4）　（建具符号：　　）
・C種　（S－6、A－4、W－5）　（建具符号：　　）
・屋内の建具の性能等級　（　　）
枠の見込み寸法　・（　　）　・図示
・防音ドア・防音サッシ　遮音性の等級（　）（建具符号：　　）
・断熱ドア・断熱サッシ　断熱性の等級（　）（建具符号：　　）G
材料
ステンレス鋼板　※SUS304　SUS430JIL又はSUS443JI
ステンレス製のくつずりの仕上げ　※HL　・No.2B
表面処理
外部に面する建具　※BB-1種　・BB-2種　・（　　）
着色　※標準色　・特注色（　　）
屋内の建具　※BC-1種　・BC-2種　・（　　）
着色　※標準色　・特注色（　　）
結露水の処理方法　・（　　）　・図示
水切り板、ぜん板　・（　　）　・図示

⊙網戸等　[5.2.3][5.3.3]

種　類	材　質	線　径	網　目
⊙防虫網	※合成樹脂製 ・ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂製 ・ｽﾃﾝﾚｽ（SUS316）製	※0.25mm以上 ・	※16～18ﾒｯｼｭ ・
・防鳥網	ｽﾃﾝﾚｽ（SUS304）線材	1.5mm	網目寸法　15㎜

・樹脂製建具　性能値等　[5.2.2][5.3.2～5][表5.3.1]
・外部に面する建具の性能等級　・A種　（S－4、A－4、W－4）　（建具符号：　　）
・B種　（S－5、A－4、W－5）　（建具符号：　　）
・C種　（S－6、A－4、W－5）　（建具符号：　　）
・屋内の建具の性能等級　（　　）
枠の見込み寸法　・（　　）　・図示
・防音ドア・防音サッシ　遮音性の等級（・T-1　・T-2）（建具符号：　　）
・断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級（・H-4　・H-5　・H-6　・H-7　・H-8）
（建具符号：　　）
外部に面する建具の日射取得性の等級　・（　　）
材料
ガラス　※複層ガラス　・（　　）
表面色　※標準色　・特注色
水切り板、ぜん板　※図示　・（　　）
ステンレス製のくつずりの仕上げ　※HL　・No.2B

・鋼製建具　性能値等　[5.2.2][5.4.2～4][表5.4.2]
簡易気密型ドアセット（建具符号：　　）
外部に面する建具の耐風圧性　※S－4　・S－5　・S－6
防音ドア・防音サッシ　遮音性の等級（　）（建具符号：　　）
断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級（　）（建具符号：　　）
材料
ステンレス鋼板　※SUS304　SUS430JIL又はSUS443JI
ステンレス製のくつずりの仕上げ　※HL　・No.2B
鋼板類の厚さ　※改修標準仕様書（表5.4.2）による　・（　　）
標準型鋼製建具の形式及び寸法　※建具表による　・（　　）

空き家改修工事（松岡邸）

特記仕様書（建築改修工事編）（3）

鈴江章宏建築設計事務所
香美市土佐山田町山田1654
一級建築士事務所
高知県知事登録 第1133号
鈴江章宏　一級建築士 第312930号
神野崇　一級建築士 第293221号

A03

・鋼製軽量建具

性能値等 [5.2.2][5.5.2～4]
簡易気密型ドアセット（建具符号：　　）
防音ドア・防音サッシ　遮音性の等級（　）（建具符号：　　）
断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級（　）（建具符号：　　）
材料
鋼板　・亜鉛めっき鋼板　・ビニル被覆鋼板　・カラー鋼板　・ステンレス鋼板
ステンレス鋼板　※SUS304 SUS430JIL又はSUS443JI
召合わせ、縦小口包み板等の材質　※鋼板　・（　　）
ステンレス製のくつずりの仕上げ　※HL　・No.2B
鋼板類の厚さ　※改修標準仕様書（表5.5.1）による　・（　　）
標準型鋼製建具の形式及び寸法　※建具表による　・（　　）

・ステンレス製建具

性能値等 [5.2.2][5.4.2][5.6.2～5]
簡易気密型ドアセット（建具符号：　　）
外部に面する建具の耐風圧性　※S－4　・S－5　・S－6
防音ドア・防音サッシ　遮音性の等級（　）（建具符号：　　）
断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級（　）（建具符号：　　）
材料
ステンレス鋼板　※SUS304 SUS430JIL又はSUS443JI
ステンレス製のくつずりの仕上げ　※HL　・No.2B
表面仕上げ　※HL仕上げ　・鏡面仕上げ　・（　　）
ステンレス鋼板の曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ

・木製建具

建具材の加工、組立時の含水率　※A種　・（　　） [5.7.2～4]
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※「1(各章共通事項)　室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策」による
・フラッシュ戸　表面材の合板の種類（ ﾎﾟﾘ合板　）
・かまち戸　かまち樹種（　）　鏡板樹種（　）　見込み寸法（　）
・ふすま　種別（・I型　・II型 ）
ふすま紙上張り（押入等の裏側以外）（・鳥の子　・新鳥の子又はビニル紙程度）
縁仕上げ（・塗り縁　・生地縁（素地）・生地縁（ウレタンクリアー塗装））
・戸ぶすま
・紙張り障子

枠及びくつずりの材料　・（　　）　・図示

・建具用金物

金物の種類及び見え掛り部の材質等 [5.8.1～3][表5.8.1～5]
※改修標準仕様書表5.8.1により適用は建具表による
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ　※改修標準仕様書表5.8.2による
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ　※改修標準仕様書表5.8.3による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ　※改修標準仕様書表5.8.4による
木製建具に使用する戸車及びレール　※改修標準仕様書表5.8.5による
握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置　※建具表による　・（　　）
錠前類、クローザ類の材質等　※改修標準仕様書表5.8.1による

・鍵

マスターキー　・製作する　・製作しない [5.8.4]
・既存のマスターキーに合わせる
その他の鍵　※各室３本１組　・
鍵箱　※無　・有

・自動ﾄﾞｱ開閉装置 [5.9.2、3]

種　類	駆動装置の値	防　錆	検出装置の性能値	検出装置の種類	凍結防止装置
引き戸用 駆動装置	※改修標準仕様書表5.9.1による	・適用する ・適用しない	※改修標準仕様書表5.9.3による	・光線（反射）センサー ・熱線センサー ・音波センサー ・光電センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ	・行う （適用箇所は建具表による） ・行わない
車椅子使用者用便房出入口 引き戸用 駆動装置	※改修標準仕様書表5.9.2による	・適用する ・適用しない		車椅子使用者用便房スイッチ	

・自閉式上吊り引戸装置

性能　※改修標準仕様書表5.10.1による　・（　　） [5.10.3]

・重量シャッター

シャッターの種類　・管理用シャッター　耐風圧強度　（　　）pa [5.11.2、3]
・外壁用防火シャッター　耐風圧強度　（　　）pa
・屋内用防火シャッター
・防煙シャッター
開閉機能方式の種類　※電動式（手動併用）　・手動式
安全装置
電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置　※建具表による　・（　）
電動式シャッターの障害物感知装置　※建具表による　・（　）
屋内用防火シャッター、防煙シャッターの危害防止装置　※建具表による　・（　）
管理用シャッターのシャッターケース　・設ける　・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類　・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量　※Z12又はF12　・（　　）
ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及びカバー、スイッチボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板　※SUS304 SUS430JIL又はSUS443JI

・軽量シャッター

開閉方式の種類　※手動式　・電動式（手動併用） [5.12.2～4]
耐風圧強度　（　　）pa
安全装置
電動式シャッターの障害物感知装置　※建具表による　・（　）
スラットの材質
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）めっきの付着量（※Z06又はF06　・　）
・JIS G 3322（塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）めっきの付着量（※AZ90）
スラットの形状　・インターロッキング形　・オーバーラッピング形

・ｵｰﾊﾞｰﾍｯﾄﾞﾄﾞｱ [5.13.2、3]

セクション材料による区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

風圧力による強さの区分　（・125　・100　・75　・50 ） Pa
安全装置
電動式の場合の障害物感知装置　※建具表による　・（　）

⊙ガラス [3.7] [5.14.2～4] [図5.14.1]

・合わせガラス
特性による種類　・I類　・II-1類　・II-2類　・III類
・強化ガラス
特性による種類　・I類　・II類　・III類（ｽｸｰﾙﾃﾝﾊﾟ）
・熱線吸収板ガラス
性能による種類　・１種　・２種
⊙ 複層ガラス
断熱性による区分　⊙T1　・T2　・T3　・T4　・T5　・T6
日射取得性、日射遮へい性による区分　・G　・S
乾燥気体の種類　・空気　⊙ アルゴン
・熱線反射ガラス
日射熱遮へい性　・1種　・2種　・3種
耐久性　・A種　・B種

⊙ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ（mm）
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガスケット ※グレイジングチャンネル形	※建具の製造所の仕様による ・図示
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材 ・	
ステンレス製	※シーリング材 ・	
樹脂製	・シーリング材 ・ガスケット ※グレイジングチャンネル形	

・ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ積み [5.14.5]

表面形状	呼び寸法	厚　さ	色　調 クﾘｱ	色　調 乳白	目地幅(mm) 平積み	目地幅(mm) 曲面積み	伸縮調整目地(mm)	防火性能
正方形	・125×125	80	・	・	※8～15 ・15～25 ・	外側 ※15以下 ・ 内側 ※6以上 ・	※6m以下ごとに幅0～25 ・図示 ・	※無し ・有り
	・160×160	・95 ・125	・	・				
	・200×200	・95 ・125	・	・				
	・320×320	95	・	・				
長方形	・250×125	80	・	・				
	・320×160	95	・	・				

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。
壁用金属枠及び補強材　※図示　・（　　）
化粧目地モルタルの色　（　　）
シーリングの種類　（　　）
金属製化粧カバー　材　質　・ステンレス製　・アルミニウム製
寸　法　・図示　・（　　）
形　状　・図示　・（　　）

⊙建築窓ガラス用フィルム

種類	記号 内張り用	記号 外張り用	その他の性能値等
※遮熱フィルム	※GI-1	・GI-2	※遮熱係数0.8以下
・			

品質　JIS A5759による

6 内装改修工事

⊙改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 [6.1.3]
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　・図示

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
※壁面より両側 600㎜ 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　・図示

既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修　※既存のまま　・図示

⊙既存床の撤去及び下地補修

ビニル床シート等の除去　※仕上げ材のみ（接着剤とも） [6.2.2]
・下地モルタルとも（※図示の範囲　・撤去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法　・機械的除去工法　・目荒し工法
改修後の床の清掃範囲　・（　改修範囲全て　）　・図示
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及び
エポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による

・既存壁の撤去及び下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2]
※改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り
（塗り厚 25㎜ を超える場合の処置　※図示　・（　　）

⊙施工一般

材料のホルムアルデヒド放散量 [6.5.2]
※１各章共通事項　室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策　による

⊙木　材 G

本工事に使用する木材は、高知県内産材（高知県内の森林から生産された木材）を使用するものとする。但し、これにより難いものは監督員の承認を得て使用すること。
日本農林規格JAS以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じたものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること。
・代用樹種　※使用できない　・使用箇所(　　)

間伐材等の適用　・使用する（使用箇所　　）
木材の含水率　※A種　・B種　（以降の表に記載のある場合はその数値を優先する）

⊙製　材 G

⊙JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材 [6.5.2]

施工箇所	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
根太	45×60	※2級		※A種　・B種		
間柱、受け材、裏桟	評価仕様	※2級		※A種　・B種		

・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面		※上小節		※A種　・B種		
見え掛り面以外		※小節以上		※A種　・B種		

・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※1等		※10%以下 ・A種　・B種		

・JAS 1083（製材）以外の製材

施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	防腐・防蟻処理	含水率	間伐材等の適用
	図示	造作材の場合 ※A種			※A種 ・B種	

・造作用集成材 G

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 [6.5.2]

施工箇所	品名	樹種	寸法（mm）	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					※1等　・2等	

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
							※1等　・2等	

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹　種	寸　法（mm）	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15%以下	

空き家改修工事（松岡邸）

特記仕様書（建築改修工事編）（４）

鈴江章宏建築設計事務所
香美市土佐山田町山田1654
一級建築士事務所
高知県知事登録 第1133号
鈴江章宏　一級建築士 第312930号
神野崇　一級建築士 第293221号

A04

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸　法 (mm)	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						※15%以下	

・造作用単板積層材 G

・JAS 0701に基づく造作用単板積層材 [6.5.2]

施工箇所	品名・	寸　法 (mm)	表面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
			・塗装加工　　・天然木加工 ・加工しない（・1等・2等・3等）	・する ・しない	

・JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸　法 (mm)	含水率	表面の品質	防虫処理
		※14%以下	・塗装加工　　・天然木加工 ・加工しない（・1等・2等・3等）	・する ・しない

・CLT(直交集成板) G

・JAS 3079に基づく直交集成板 [6.5.2]

施工箇所	品　名	曲げ強度 (強度等級)	種　別	接着性能 (使用環境)	樹　種	寸　法 (mm)	間伐材等の適用

⊙合板等 G

・「合板の日本農林規格」による普通合板 [6.5.2]

施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	※5.5 ・　9	※1類 ・2類		広葉樹　・1等 ※2等以上 針葉樹　※C-D以上 ・	・する ・しない	

⊙「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	等級	単板の樹種名	板面の品質	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
壁（耐震補強）	※12 ※9	・特類 ※1類	・1級 ※2級以上		※C-D以上 ・	・する ・しない		

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	防虫処理	間伐材等の適用
		・特類　・1類		・する ・しない	

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種名	防虫処理
		・1類 ・2類		・する ・しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	化粧加工の方法	単板の樹種名	防虫処理
		・1類 ・2類			・する ・しない

・パーティクルボード G

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性	難燃性
	※15		※13タイプ	※P又はM	

・JAS 0360に基づく構造用パネル

施工箇所	厚さ(mm)	品名・

・ミディアムデンシティーファイバーボード(MDF) G

施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	難燃性	間伐材等の適用

⊙接合具等

造作材の化粧面の釘打ち [6.5.3]
　※隠し釘打ち　・釘頭埋本　・つぶし頭釘打ち　・釘頭現し
諸金物
　※かすがい、座金、箱金物、短冊金物
　（改修標準仕様書表6.5.3～5に示す程度の市販品　表8.20.1のF種程度）
　・
　（形状：　　寸法：　　材質：　　）

⊙接着剤

ホルムアルデヒドの放散量 [6.5.3、4][6.8.2][6.9.2][6.11.4、5]
　※1各章共通事項　室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策　による。

⊙防腐、防蟻処理

・防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材　適用部位（　　） [6.5.5]
・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部位	保存処理性能区分
	・K2　・K3　※K4

⊙薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法	
床下木部、土壌	※改修標準仕様書6.5.5(1)(b)②による ・	※JIS K 1571に適合又は同等品

・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理　適用部位（　　）
・合板等の加圧注入処理の適用　　適用部位（　　）

⊙内部間仕切軸組及び床組

・間仕切軸組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合） [6.5.6]
　※杉又は松　⊙　桧
・床組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
　※杉又は松　⊙　桧

⊙窓、出入口その他

・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合） [6.5.7]
　※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居　ひのき　その他　松又は杉
　⊙　桧

・床板張り

・縁甲板及び上がりかまちに用いる木材の樹種名（製材を用いる場合） [6.5.8]
　※ひのき　・

⊙壁及び天井下地

・壁胴縁、野縁受桟、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合） [6.5.9]
　※杉又は松　・

・軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類　　屋　外　・19形　※25形 [6.6.2～4]
　　屋　内　※19形　・25形
・屋外の軒天井、ピロティ天井等
　工法
　　1章　適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
　野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔　・図示　・（　　）
　周辺部の端からの間隔　・図示　・（　　）
　野縁の間隔　・図示　・（　　）
既存の埋込みインサート　・使用する　・使用しない
あと施工アンカーの引抜き試験　・行う　試験箇所数
　※屋内の場合、当該階において3箇所
　・（　　）箇所
　確認強度
　※吊りボルトの間隔が900mm以下、かつ天井面構成部材等の単位面積当たりの質量が20kg/㎡以内の天井の場合
　400N程度
　・（　　）N
・行わない
・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合　補強方法　※図示　・（　　）
・天井のふところが1.5m以上3m以下の場合　補強方法　※標準仕様書6.6.4(8)による　・図示
・天井のふところが3mを超える場合　補強方法　※図示　・（　　）
・天井下地材における耐震性を考慮した補強　補強箇所　※図示　・（　　）
　補強方法　※図示　・（　　）

・軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナの種類 [6.7.3、4]
　※改修標準仕様書表6.7.1 によるスタッドの高さによる区分に応じた種類　・（　　）
スタッドの高さが 5m を超える場合　※図示　・（　　）
出入口及びこれに準ずる開口部の補強　※改修標準仕様書表6.7.4(5)による　・（　　）

⊙ビニル床シート G [6.8.2、3]

種類の記号	施工箇所	色　柄	特殊機能	厚さ(mm)
※FS	前室（陸上棟） 1Fトイレ出入口（女子棟）	・無地 ⊙マーブル柄 ・柄物	・帯電防止 ・耐動荷重	※2.0 ・
⊙KS	トイレ、洗面室　腰壁 トイレ　床		⊙防滑性 ・耐薬品性	※1.8

工法　※熱溶接工法　・目地処理工法　・（　　）
帯電防止　　帯電防止性能評価値（JIS A 1455） 1.2 以上～ 3.2 未満
　　又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1x10 ～1x10 Ω程度 10

・ビニル床タイル G [6.8.2]

種類の記号	施工箇所	色　柄	寸法 (mm)	特殊機能	厚さ(mm)
・FT		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	※2.0 ・
・KT		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	※2.0 ・
・FOA		・無地 ・柄物	・500×500 ・	・帯電防止 ・防滑性	・
・		・無地 ・柄物	・500×500 ・	・帯電防止 ・防滑性	・

帯電防止　　帯電防止性能評価値（JIS A 1455） 1.2 以上～ 3.2 未満
　　又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1x10 ～1x10 Ω程度 10

・ビニル幅木

材質の種類　※軟質　・硬質 [6.8.2]
高さ (mm)　※60　・75　・100
厚さ (mm)　※1.5以上　・（　　）

・ゴム床タイル

種類　・単層品　・積層品 [6.8.2]
色柄（　　）　・フラット　・凹凸
厚さ (mm)　・3.0　・4.5　・6.0　・9.0
寸法 (mm)　（　　）

・沓摺

材種　・ｽﾃﾝﾚｽ製（SUS304）
厚さ (mm)　・2.0
巾　(mm)　・40

・ｶｰﾍﾟｯﾄ敷き G

・織じゅうたん [6.9.2、3][表6.9.1]

織り方	パイル形状	色柄等	パイル系の種類	特殊機能	備考
・ｳｨﾙﾄﾝｶｰﾍﾟｯﾄ ・ﾀﾞﾌﾞﾙﾌｪｰｽｶｰﾍﾟｯﾄ ・ｱｷｽﾐﾝｽﾀｰｶｰﾍﾟｯﾄ	・カットパイル ・ループパイル ・カット、ループ併用	・無地 ・柄物 (標準品)	・A種 ・B種 ・C種	※帯電防止 ・	

接合方法　※ヒートボンド工法　・つづり縫い
下敷き材　※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8㎜　・（　　）

・タフテッドカーペット

パイル形状	パイル長さ(mm)	工　法	特殊機能	備　考
・カットパイル	※5～7　・	・全面接着工法 ・グリッパー工法	※帯電防止 ・	
・ループパイル	※4～6　・			
・カット、ループ併用	・			

下敷き材（グリッパー工法の場合）
　※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8㎜　・（　　）

・タイルカーペット

パイルの形状	種別	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ(mm)	備　考
※ループパイル	※第一種 ・第二種		※500×500 ・	※ 6.5 ・	
・カットパイル					
・ｶｯﾄ、ﾙｰﾌﾟ併用					

タイルカーペットの敷き方　　平　場　※市松敷き　・模様流し　・
　　階段部分　※模様流し　・市松敷き　・

見切り、押え金物　・適用する　（材質、種類、形状等　※図示　・　　）

・合成樹脂塗床 [6.10.2～3]

種　別	施工箇所	工法・仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床		※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂塗床		・薄膜流しのべ工法　（※平滑　・防滑） ・厚膜流しのべ工法　（※平滑　・防滑） ・樹脂モルタル工法　（※平滑　・防滑）
・薄膜型塗床材		※平滑仕上げ

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量
　※1各章共通事項　室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策　による

⊙フローリング張り

単層フローリング G [6.11.2～6]

種　類	樹　種	厚さ(mm)	大きさ(mm)	工　法	仕上塗装	間伐材等の適用
・フローリングボード 1等 ⊙単層フローリング	※なら ・ ⊙桧	※ 15 ・12 ・18	幅　(108) 長さ　(1900)	⊙釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※塗装品 ・無塗装品	・
・フローリングブロック 1等	※なら ・	※15 ・	※303×303 ・	・接着工法	※塗装品 ・無塗装品	・

複合フローリング G

種　類	樹　種	種　別	厚さ(mm)	工　法	仕上塗装	間伐材等の適用
・天然木化粧複合 フローリング	※なら ・	・A種 ・B種 ※C種	・15 ・12	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※塗装品 ・無塗装品	・

ホルムアルデヒド放散量
　※1各章共通事項　室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策　による
接着工法の場合の不陸緩和材　※合成樹脂発泡シート　・（　　）

⊙畳敷き

種　別　・A種　・B種　・C種　・D種（畳床：　　） [6.12.2]
下地の種類　・改修標準仕様書 表6.5.8による床組
　　・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン G ）
ホルムアルデヒド放散量
　※1各章共通事項　室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策　による
畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする。

畳表　高知県土佐畳表検査協会の合格品使用（3種表の2等以上）　※適用する　・適用しない
畳床の防虫処理は防虫加工紙を使用してもよい。

空き家改修工事（松岡邸）	特記仕様書（建築改修工事編）（5）		
鈴江章宏建築設計事務所 香美市土佐山田町山田1654 一級建築士事務所 高知県知事登録 第1133号	鈴江章宏 一級建築士 第312930号	神野崇 一級建築士 第293221号	A05

⊙せっこうボード、その他ボード及び合板張り

[6.13.2、3]

種　類	JIS記号	厚さ(mm)、規格等
・硬質木毛セメント板 G	HW	・15　・20　・25　・
・中質木毛セメント板 G	MW	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板 G	NW	・15　・20　・25　・
・硬質木片セメント板 G	HF	・12　・15　・18　・21　・
・普通木片セメント板 G	NF	・30　・
・けい酸カルシウム板	0.8ＦＫ 1.0ＦＫ	タイプ２（無石綿）　・6　・8
・ロックウール化粧吸音板	ＤＲ	※ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ（※9（不燃）・12　・(不燃) (不燃)
・ロックウール吸音ボード1号	ＲＷ－Ｂ	※25　・
・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ32Ｋ	ＧＷ－Ｂ	※25（ガラスクロス包）　・
⊙せっこうボード	ＧＢ－Ｒ	⊙12.5（不燃）　・15（不燃）　⊙9.5
・不燃積層せっこうボード	ＧＢ－ＮＣ	9.5（不燃）　・化粧無（下地張り用） ・化粧有（トラバーチン模様）
・シージングせっこうボード	ＧＢ－Ｓ	12.5（　・不燃　・準不燃）
・強化せっこうボード	ＧＢ－Ｆ	・12.5（不燃）　・15（不燃）
・せっこうラスボード	ＧＢ－Ｌ	9.5
・化粧せっこうボード（木目）	ＧＢ－Ｄ （Ｗ）	12.5（不燃）　幅440mm 程度 模様（※柾目　・板目）専用下地材有り
・化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様)	ＧＢ－Ｄ(Ｔ)	9.5（準不燃）
・普通合板 G		・生地、透明塗料塗り（ラワン合板程度） ・不透明塗料塗り（しな合板程度）
・天然木化粧合板 G		
・特殊加工化粧合板 G		・オーバーレイ　・プリント　・塗装
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による　厚さ1.2
・ポリエステル樹脂化粧板		
・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ G	Ｇ－ＭＤＦ	・3　・7　・9　・12　・無研磨　・研磨
・単板張りﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ G		・無研磨板　・研磨板 ・10　・12　・15　・18　・
・化粧パーティクルボード G		・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲ　・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ　・塗装 ・10（難燃）　・12（難燃）　・
・ハードボード（素地） G	ＨＢ	・無研磨板（・スタンダード・テンパード） ・研磨板（・スタンダード・テンパード）
・ハードボード（化粧） G		・内装用　・外装用 ・2.5　・3.5　・5　・7
・ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ G	Ａ－ＩＢ Ｔ－ＩＢ	Ａ級 ・9　・12　・15　・18
・火山性ｶﾞﾗｽ質複層板 化粧加工K2	密度ＡＩ	・6　・9　・12

せっこうボード等の下地　※図示
遮音シール材　・適用する（・シーリング材　・ジョイントコンパウンド）
合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※「1(各章共通事項)　室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策」による
合板類の張付け　・A種　※B種
せっこうボードの目地工法　・仕上表による　・（　　）

⊙壁紙張り

ホルムアルデヒド放散量　[6.14.2、3]
※１各章共通事項　室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策　による

施工箇所	壁紙の種類					防火 性能	備　考
	紙	繊維	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	無機質	その他		
	・	・	⊙	・	・	※不燃・準不燃	
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃	

モルタル・プラスター面の下地調整　※B種　・A種
コンクリート面の下地調整　※B種　・A種
せっこうボード面の下地調整　※B種　・A種

・モルタル塗り

モルタル　・現場調合材料　・既調合材料　[6.15.3、5、6]
既製目地材　・使用する（施工箇所：　　形状：　※図示　）
床の目地　・設ける　（工法　※押し目地　・　　）
目地割り　※2㎡程度（最大目地間隔3m程度）　・（　　）
壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理　※図示

・タイル張り

[6.16.2～4]
伸縮調整目地の位置　・（　　）　・図示
見本焼き　・行う　・行わない
試験張り　・行う　・行わない

・セメントモルタルによるタイル張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法(mm)	再生材の適用 G	吸水率による区分 I類	II類	III類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 あり	なし	耐滑り性	備　考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
壁タイル張りの工法　内装タイル　・密着張り　・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り

・有機系接着剤によるタイル張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法(mm)	再生材の適用 G	吸水率による区分 I類	II類	III類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 あり	なし	耐滑り性	備　考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
内装壁タイル接着剤張りに使用する有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量
※１各章共通事項　室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策　による

・ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ材塗り

塗　厚　（　）mm　[6.17.2、3]

7 塗装改修工事

⊙材　料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量　[7.1.3]
※１各章共通事項　室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策　による
防火材料　※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする（箇所　　）

⊙下地調整

塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲　[7.2.1～7]
※塗替え面積の30%　・図示
既存錆止め塗料の鉛含有量調査　・行う（　箇所）　・行わない

下地調整

下地面の種類	下地調整の種別 塗替え	ひび割れ部の補修
木部	※RB種　・	
鉄鋼面	※RB種　・	
亜鉛めっき鋼面	※RB種　・	
亜鉛めっき鋼面（鋼製建具等）	※RB種　・	
モルタル面、プラスター面	※RB種　・	・行う
ｺﾝｸﾘｰﾄ面(DP以外)、ALCﾊﾟﾈﾙ面	※RB種　・	・行う
ｺﾝｸﾘｰﾄ面(DP)	・RB種　・RC種	・行う
押出成形セメント板面	・RA種　・RB種　・RC種	・行う
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面	※RB種	

・錆止め塗料塗り

錆止め塗料塗りの種別　[7.4.2、3]

素地面	塗装の種類		塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	SOP (工程の種別は表7.4.3)	塗替え	A種	※C種　・
		新規見え掛り	A種	※A種　・
		新規見え隠れ	A種	※B種　・
	EP-G (工程の種別は表7.4.3)	塗替え	※B種　・A種	※C種　・
		新規見え掛り	※B種　・A種	※A種　・
		新規見え隠れ	※B種　・A種	※B種　・
	DP (工程の種別は表7.4.4)	塗替え	7.4.2(1)(ｲ)(b)による。	・B種（下地調整RB種） ・C種（下地調整RC種）
		新規	7.4.2(1)(ｲ)(a)による。	・A種
亜鉛めっき鋼面	SOP (工程の種別は表7.4.5)	塗替え	※A種　・B種	※C種　・
		新規 鋼製建具等	※A種　・B種	※A種　・
		新規 その他	※B種	※B種　・
	EP-G (工程の種別は表7.4.5)	塗替え	C種　・	※C種　・
		新規 鋼製建具等	C種　・	※A種　・
		新規 その他	C種　・	※B種　・
	DP (工程の種別は表7.4.6)	塗替え	B種　・	―
		新規	B種　・	―

⊙塗装

[7.5.2～7.12.2]

塗装の種類	塗装面	工程 塗替え	工程 新規
・合成樹脂調合ペイント塗り　(SOP) 塗料の種類　※1種　・2種	木部(外部)	※B種　・	※A種　・
	木部(内部)	※B種　・	※B種　・
	鉄鋼面	※B種　・	・A種　※B種
	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具)	※A種　・	※B種　・
	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)	※B種　・	※B種　・
・クリアラッカー塗り　(CL)	木部	・A種　※B種	・A種　※B種
・ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	屋内のｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面	※B種　・	※B種　・
・耐候性塗料塗り　(DP)	鉄鋼面　上塗り ・1級　・2級　・3級	・B種	―
	亜鉛めっき鋼面　上塗り ・1級　・2級　・3級	・	―
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・	・A-1種 ・B-1種 ・C-1種
・つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り　(EP-G)	コンクリート面等	※B種　・	・A種　・B種
	屋内の木部	※B種　・	※A種　・
	屋内の鉄鋼面	※B種　・	・A種　※B種
	屋内の亜鉛めっき面	※B種　・	・A種　・B種
⊙合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※B種　・	・A種　・B種
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		・A種　※B種	・A種　※B種
・ステイン塗り		・ピグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り（OS）	
⊙木材保護塗料塗り(WP)		・A種　※B種	・A種　※B種

つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り（コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面）の塗替えの場合のしみ止め
※改修標準仕様書7.9.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする　・（　　）
合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め
※改修標準仕様書7.10.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする　・（　　）
高日射反射率塗料塗り G
下地調整（改修標準仕様書7.2.2）　・RA種　※RB種　・RC種

工程	塗料その他 規格番号	規格名称	種類	等級	塗付け量(kg/㎡)
塗料塗り	JIS K5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	・1種 ・2種 ・3種	塗料製造所の仕様による

クリアラッカー塗りA種の工程2　・適用する（着色材：・溶剤系　・油性染料）　・適用しない
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の適用　・適用する　・適用しない
オイルステイン塗りの工程等　・（　　）

・素地ごしらえ

(18.2.2～7)

下地面等		種　別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種　・B種
	透明塗料塗りの場合	・A種　※B種
鉄鋼面		・A種　・B種　※C種
亜鉛めっき鋼面		・A種　・B種
モルタル面及びプラスター面		・A種　※B種
コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面		・A種　※B種
コンクリート面(DP)及びALCパネル面		・A種　・B種
せっこうボード面及びその他ボード面	継目処理工法の場合	※A種　・B種
	継目処理工法以外	・A種　※B種

8-1 鉄筋工事

・鉄筋

鉄筋の種類等　[8.2.1][表8.2.1]

種類の記号	呼び径（mm）	備考
・SD295	※D16以下	
・SD345	※D19以上	
・		
・		

・溶接金網

形状等　[8.2.2]

種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径（mm）	使用部位
・溶接金網		φ6.0　100×100	土間嵩上げ
・鉄筋格子			

・鉄筋の継手

継手方法等　[8.3.4][8.4.2、3]

部　位	継手方法	呼び径（mm）
柱・梁の主筋	※ガス圧接　・機械式継手　・溶接継手	※D19以上
耐力壁の鉄筋	※重ね継手	
その他の鉄筋(　　)	※重ね継手	

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ　[8.3.4]
・構造関係共通図（配筋標準図）3.1(a)　による
・フックのありなしにかかわらず、40d(軽量コンクリートの場合は50d)と、
構造関係共通図（配筋標準図）3.1(a)　表3.1の重ね継手長さのうち大きい値とする
・図示
継手位置図
・構造関係共通図（配筋標準図）5.1、6.1、7.1、7.3、8.1による
・図示

・鉄筋の定着長さ

・構造関係共通図（配筋標準図）3.1(b)による　[8.3.4]
・図示

・鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む)

最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う)　[8.3.5]
・構造関係共通図（配筋標準図）表4.1による
・図示
柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無
・無し
・有り　適用箇所(　　)
最小かぶり厚さ
・鉄筋径の1.5倍以上
・（　　）
軽量コンクリートで土に接する部分
・無し
・有り　適用箇所(　　)
・構造関係共通図（配筋標準図）表4.1に加える厚さ　(　)mm
・（　　）
耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等)
・無し
・有り　適用箇所(　　)
・構造関係共通図（配筋標準図）表4.1に加える厚さ　(　)mm
・（　　）
鉄筋相互のあき(特殊な鉄筋を除く)　[8.3.5][図8.3.5]
・構造関係共通図（配筋標準図）4.1による
・図示

空き家改修工事（松岡邸）

特記仕様書（建築改修工事編）（6）

鈴江章宏建築設計事務所
香美市土佐山田町山田1654
一級建築士事務所 高知県知事登録 第1133号
鈴江章宏　一級建築士 第312930号
神野崇　一級建築士 第293221号

A-06

杭頭の処理
・処理しない
・処理する
処理方法（切断にともなう補強方法含む）
・（　　）　・図示
杭頭の中詰め材料
・基礎のコンクリートと同調合のもの　・（　　）
杭の精度
・水平方向の位置ずれ
・杭径の1/4かつ100㎜以下　・（　　）
・杭の傾斜
・1/100以内　・（　　）
記録する施工状況等
・（　　）　・図示

・砂利及び砂地業

材　料　[8.2.1 5]
砂利　※再生クラッシャラン　G　・切込砂利又は切込砕石
砂　・シルト　・山砂、川砂又は砕砂
厚　さ　・60㎜　・（　）mm　[8.2 8.4]

・捨コンクリート

捨コンクリートの厚さ　[8.1 1.1][8.2 8.4]
・50㎜　・（　）mm
設計基準強度
・18N/㎟　・（　）N/㎟
スランプ
・15㎝　・18㎝　・（　）cm

9 環境配慮改修工事

・石綿含有建材の処理工事

・石綿粉じん濃度測定　[9.1.1、3～6]
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所（各施工箇所ごと）
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・計　箇所
・	測定2		調査対象室外部の付近	・計　箇所
・	測定3	処理作業中	処理作業室内	・計　箇所
・	測定4		セキュリティゾーン入口	・計　箇所
・	測定5		集じん・排気装置の排出吹出し口(処理作業室外)	出口吹出し風速1m/sec以下の位置 ・計　箇所
・	測定6		処理作業室外(敷地境界)（施工区画周辺）	・計　箇所 ・計　箇所
・	測定7	処理作業後(ｼｰﾄ養生中)	処理作業室内	・計　箇所
・	測定8	処理作業後シート撤去後1週間以降	処理作業室内	・計　箇所
・	測定9		調査対象室外部の付近	・計　箇所

・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定4 ・測定5	粉じん相対濃度計（ﾃﾞｼﾞﾀﾙ粉じん計）、ﾊﾟｰﾃｨｸﾙｶｳﾝﾀｰ 繊維状粒子自動測定器（ﾘｱﾙﾀｲﾑﾌｧｲﾊﾞｰﾓﾆﾀｰ）等の 粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

	測定4,5	測定( )	測定( )
メンブレンフィルタ直径(mm)	25	47	47
試料の吸引流量(l/min)	5	10	10
試料の吸引時間(min)	30	120	240

石綿含有建材の処理
・石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲　・図示　・（　　）
除去工法　※改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止　※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場)　・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲　・図示　・（　　）
除去工法　・破砕して除去　・原型のまま手ばらし
除去した石綿含有保温材等の飛散防止　※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場)　・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第１種以外）の除去
除去対象範囲　・（　石綿波型ｽﾚｰﾄ　）　・図示
作業場所周辺の養生　・行う
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有せっこうボード　※埋立処分(管理型最終処分場)
・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
・埋立処分(管理型最終処分場)　・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

・ 石綿含有成型板（石綿含有けい酸カルシウム板第１種）の除去
除去対象範囲　・ 図示　・
養生方法　・
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第１種の処分
・ 埋立処分（安定型最終処分場）
・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・ 石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去
除去対象範囲　・ 図示　・
除去工法　・
養生方法　・
除去した石綿含有仕上塗材の処分
・ 埋立処分（安定型最終処分場）
・ 埋立処分（管理型最終処分場）
・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

石綿含有建材除去後の仕上げ工事　・図示　・

・外断熱改修工事　G

断熱材の種類　（　　）　[9.2.1～4]
断熱材の厚さ(㎜)　（　　）
施工箇所　・ 図示　・
ホルムアルデヒド放散量
※1 各章共通事項　室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策　による

外装材

種類	防火性能	備考
・		

鋼材　改修特記仕様書第8章　8－3　鉄骨工事　・鋼材による
笠木　改修特記仕様書第3章　・アルミニウム製笠木による

既存外壁の処置
既存外壁仕上材の撤去　・ あり　・ なし
下地面の清掃　・ 行う　・ 行わない
欠損部の改修工法　・ 改修特記仕様書第4章外壁改修工事による　・

工法
通気層の有無　・ あり（　　mm）　・ なし
断熱材の施工　※断熱材製造所の仕様による　・
外装材の施工　・ 外装材製造所の仕様による　・
1章　適用区分による風圧力（・1　・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法
不陸等の下地調整（　　）
外装材の外壁への取付け　・図示　・

⊙断熱・防露改修工事　G

[9.3.2～4]
フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量
※「1(各章共通事項)、室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策」による

・断熱材打込み工法　・断熱材後張り工法

種　類	厚さ(mm)	施工箇所
・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材		
・押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材（スキン層なし）		
・硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材		
・ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ断熱材		
⊙高性能ｸﾞﾗｽｳｰﾙ断熱材14Ｋ（熱抵抗値　R=4.1）	⊙155	台所・食堂、洗面室　天井

・断熱材現場発泡工法
断熱材の種類　・Ａ種１　・Ａ種１Ｈ
厚さ (㎜)　・25　・30　・（　）
施工箇所　※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフドレイン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所
・図示

・ 断熱材後張り工法
断熱材の種類　・
断熱材の厚さ（mm）　・
断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル
・使用する（せっこうボード等の材質　厚さ　mm）

・屋上緑化改修工事　G

植栽基盤及び材料　[9.4.2～4]
屋上緑化軽量システム　※適用する　・適用しない
芝及び地被類の種類等　・（　　）　・図示
見切り材、舗装材、　排水孔ルチング材等　・（　　）　・図示
かん水装置　・設置する（種類　・　　）　（工事区分は図示による）
既存保護層の撤去　・行う
新植した芝及び地被類の枯補償の期間　※引渡しの日から1年　・無し　・（　　）

・透水性ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装改修工事　G

[9.5.2～5、9]
既適用範囲　※歩道　・（　　）
既存舗装の撤去及び再利用　※図示　・（　　）
路床
路床の材料

種別	材料	厚さ(mm)
・ 盛土	・ Ａ種　・ Ｂ種　・ Ｃ種　・ Ｄ種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 G	・ 図示 ・
・ 凍上抑制層	※ 再生クラッシャラン　G　・クラッシャラン ・ 切込み砂利 ・ 砂 ・	・ 図示 ・
・ フィルター層	・ 砂 ・	・ 図示 ・

凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験
・行う　・行わない
・路床安定処理
安定処理の方法　・ 置き換え工法　・ 安定処理工法
路床安定化処理用添加材料
種類　・ 普通ポルトランドセメント　・高炉セメントB種　G
・ フライアッシュセメントB種　・ 生石灰（・ 特号　・ 1号）
・ 消石灰（・ 特号　・ 1号）
添加量（　　）kg／m³　（目標CBR　・ 3以上　・　）
目標CBRを満足する添加量の確認方法
・安定処理土のCBR試験　・
・ ジオテキスタイル
単位面積質量　・ 60g/㎡以上　・
厚さ(mm)　・ 0.5～1.0　・
引張強さ　・ 98N/5cm（10kgf/5cm）以上　・
透水係数　・ 1.5×10⁻³ cm/sec以上　・
試験
路床土の支持力比（ＣＢＲ）試験　・ 行う　・ 行わない
現場ＣＢＲ試験　・ 行う　・ 行わない
路床締固め度の試験　・ 行う　・ 行わない
路盤
路盤の厚さ　・ 図示　・
路盤材料
・ 砕石　（・ クラッシャラン　・ 粒度調整砕石 ）
・ 再生材　（・ クラッシャラン　G・ 粒度調整砕石　）G
・ 粒度調整鉄鋼スラグ　G
・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ　G
舗装の構成　・図示　・
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験　・ 行う　・ 行わない
舗装の平たん性　※ 著しい不陸がないもの　・

10 その他

・ フリーアクセスフロア

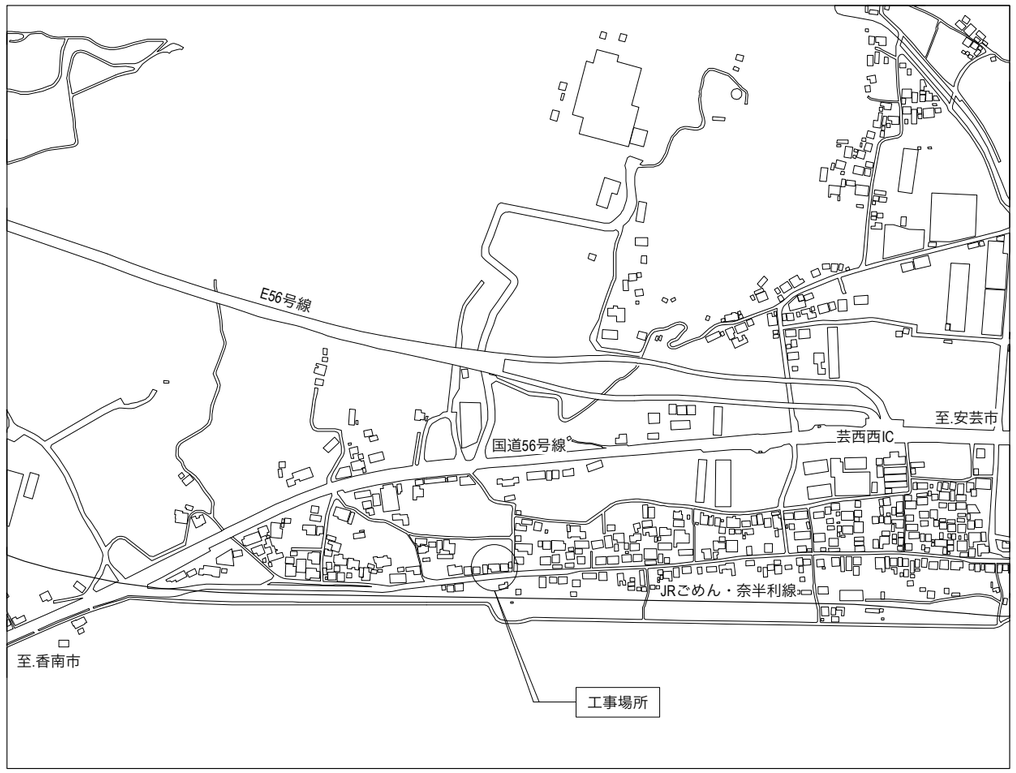
(20.2.2)

施工箇所	構　法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重 (N)	表面仕上材	備考
	・ 置敷式 ・ 支柱調整式	・ 500×500 ・		・ 1.0Ｇ ・ 0.6Ｇ	・ 3000 ・ 5000	・ 帯電防止床ﾀｲﾙ ・ ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ	
	・ 置敷式 ・ 支柱調整式	・ 500×500 ・		・ 1.0Ｇ ・ 0.6Ｇ	・ 3000 ・ 5000	帯電防止床ﾀｲﾙ ・ ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	
	・ 置敷式 ・ 支柱調整式	・ 500×500 ・		・ 1.0Ｇ ・ 0.6Ｇ	・ 3000 ・ 5000	・ 帯電防止床ﾀｲﾙ ・ ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ	

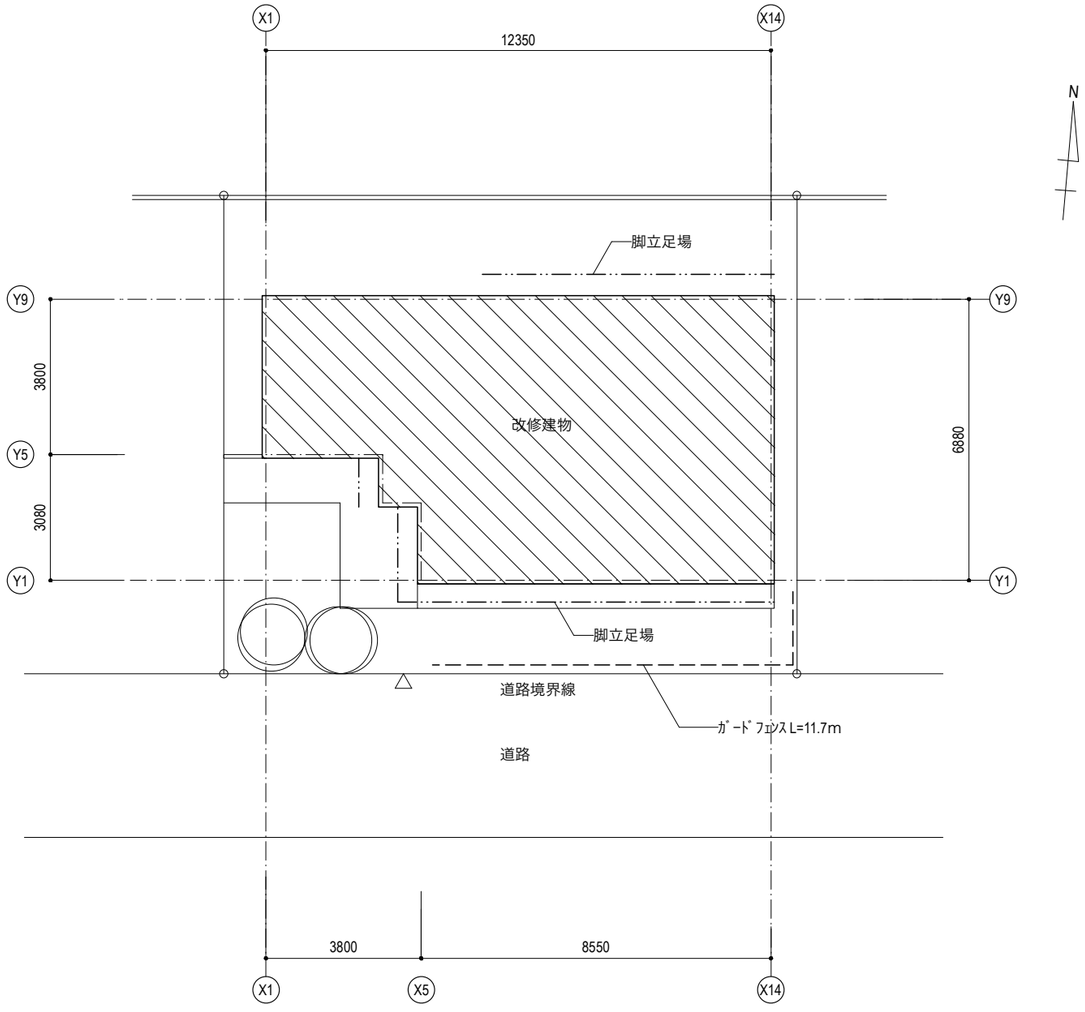
帯電防止性能
・評価値（U）≧0.6以上　・評価値（U）≧1.2以上
感電防止性能
漏えい抵抗（R）≧1×10⁸Ω
寸法精度
※ 標準仕様書20.2.2(2)(ｲ)による　・
耐荷重性能、耐衝撃性能、ローリングロード性能、耐燃焼性能
※ 標準仕様書20.2.2(2)(ｲ)による　・
表面仕上材の品質、性能は、標準仕様書19章による。
スロープ及びボーダー　※ 製造所の仕様による　・ 図示
配線用取り出しパネル
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合　※ 100パーセント ・
配線取り出し開口　※ パネル1枚につき、40mm×80mm　程度の開口1箇所以上
・ 図示
空調用吹き出し（吸い込み）パネル　※・ なし　・ あり（形式、施工箇所：図示）

鈴江章宏建築設計事務所
香美市土佐山田町山田1654
一級建築士事務所
高知県知事登録 第1133号
鈴江章宏　一級建築士 第312930号
神野崇　一級建築士 第293221号

付近見取図



工事場所：安芸郡芸西村西分甲2805番地5



配置図

工事概要

外部
- 外壁　化粧ﾎﾞｰﾄﾞ部分を杉板張りに改修
- 木製窓、雨戸撤去、ｱﾙﾐｻｯｼ（雨戸付）新設　4箇所

内部
- 耐震補強：構造用合板補強、構造金物補強
- 断熱改修（台所・食堂、洗面室）
  天井断熱、ｱﾙﾐｻｯｼのｶﾞﾗｽ断熱改修
- 内装改修
  床　複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞから桧ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞに張替
  畳敷から桧ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞに改修
  畳おもて替え（表の間）
  ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱ貼替え
  壁　ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼替え
  腰壁ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱ貼替え
  綿壁剥ぎ取り、EP塗に改修
  天井　ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張替え
  耐震補強、断熱工事に伴う内装材撤去、復旧
- 襖紙、障子の貼替え
- 洗面化粧台新設
- 防蟻工事（床下木部、土壌処理）
- その他　美装

設備
- 電気温水器新設

仮設　凡例

ー ー ー ー ー	仮囲い：ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ
━ ･ ━ ･ ━	脚立足場（参考）

鈴江章宏建築設計事務所	一級建築士事務所 高知県知事登録1133号	管理建築士　鈴江 章宏 一級建築士 第312930号	神野　崇 一級建築士 第293221号		project 空き家改修工事（松岡邸）	title 付近見取図・配置図		no. A08
						date	scale 1:150	

外部仕上表

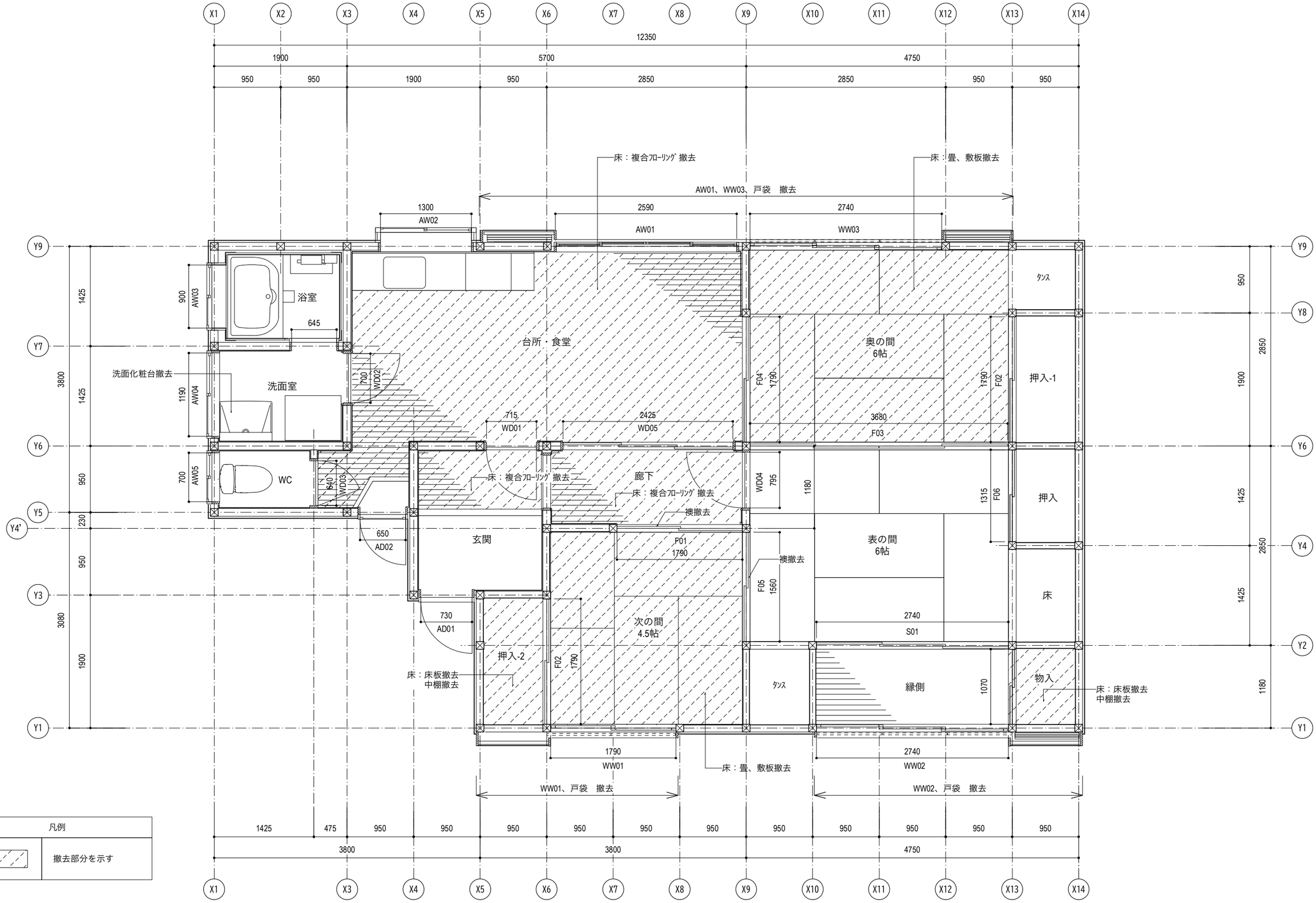
部　位	既存仕上	改修仕上
屋根1	日本瓦（釉薬瓦）葺き	――
屋根2	ｶﾗｰ鋼板葺き	――
外壁1	ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ縦張り	――
外壁2	漆喰塗り	一部漆喰塗替/ﾓﾙﾀﾙ塗t=25/防水ｼｰﾄ/ﾗｽ板
外壁3	化粧ﾎﾞｰﾄﾞ張り	杉竪羽目板張りt=12　WP塗

部　位	既存仕上	改修仕上
外壁4	ﾄﾀﾝ板張り	――
基礎立上	ﾓﾙﾀﾙ塗り	――
軒裏	漆喰塗	――
庇	ｶﾗｰ鋼板葺き	――
庇裏	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板張り	杉竪羽目板張りt=12　WP塗

部　位	既存仕上	改修仕上
戸袋1	板張り	撤去
戸袋2	ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ張り	撤去
竪樋	塩ﾋﾞ製	――
軒樋	塩ﾋﾞ製	――

内部仕上表

階	室名		床 仕上	床 下地	巾木	壁 仕上	壁 下地	廻り縁	天井 仕上	天井 下地	備考
1階	玄関	既存	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ張 自然石乱張り	木下地	木製	VC貼 / 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ張	木下地	木製	VC貼 / 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ張	木下地	
		改修	桧ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt=15張替 自然塗料塗	――	――	VC貼替 / 既存石膏ﾎﾞｰﾄﾞ　一部GB-R12.5張替 VC貼 / 耐水合板t=5.5張 / 構造用合板t=12	――	塩ﾋﾞ製 目透かし型	VC貼 / GB-R9.5張	木下地	
	廊下	既存	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ張	木下地	木製H=100	VC貼 / 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ張	木下地	木製	VC貼 / 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ張	木下地	
		改修	桧ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt=15張替 自然塗料塗	――	――	VC貼替 / 既存石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	――	――	VC貼替 / 既存石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	木下地	
	台所・食堂	既存	複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ張	木下地	木製H=100	VC貼 / 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ張	木下地	木製	VC貼 / 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ張	木下地	
		改修	桧ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt=15張替 自然塗料塗	――	桧H=100 自然塗料塗	VC貼替 / 既存石膏ﾎﾞｰﾄﾞ　一部GB-R12.5張替 構造用合板t=12　自然塗料塗	木下地	塩ﾋﾞ製 目透かし型	VC貼 / GB-R9.5張	木下地	
	奥の間	既存	畳敷き	木下地	ﾀﾀﾐ寄せ	綿壁	木下地	木製	化粧合板張　竿縁	木下地	
		改修	桧ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt=15張 自然塗料塗	木下地	雑巾摺	EP塗 / 既存綿壁掻き落とし、下地調整材塗	――	――	――	――	
	次の間	既存	畳敷き	木下地	ﾀﾀﾐ寄せ	綿壁	木下地	木製	杉合板目透かし張	木下地	
		改修	桧ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt=15張 自然塗料塗	木下地	雑巾摺	EP塗 / 既存綿壁掻き落とし、下地調整材塗	――	――	――	――	
	表の間	既存	畳敷き	木下地	ﾀﾀﾐ寄せ	綿壁	木下地	木製	化粧合板張　竿縁	木下地	
		改修	既存畳おもて替え	――	――	EP塗 / 既存綿壁掻き落とし、下地調整材塗	――	――	――	――	
	縁側	既存	縁甲板張り	木下地	雑巾摺	綿壁	木下地	木製	化粧合板目透かし張	木下地	
		改修	既存縁甲板張り　自然塗料塗替/ｻﾝﾀﾞｰ処理	――	――	――	――	――	――	――	
	押入-1	既存	板張り	木下地	雑巾摺	ﾓﾙﾀﾙ塗	木下地	木製	化粧合板張	木下地	
		改修	既存板取外し、復旧（再利用）	――	――	構造用合板t=12	――	――	――	――	
	押入-2	既存	板張り	木下地	雑巾摺	ﾓﾙﾀﾙ塗	木下地	木製	杉板張　竿縁	木下地	
		改修	耐水合板t=12張	――	――	構造用合板t=12	木下地	木製	耐水合板t=5.5張	木下地	
	物入	既存	板張り	木下地	雑巾摺	ﾓﾙﾀﾙ塗	木下地	木製	化粧合板張	木下地	
		改修	耐水合板t=12張	――	――	構造用合板t=12	木下地	木製	耐水合板t=5.5張	木下地	
	洗面室	既存	桧ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ張り	木下地	木製H=100	腰上：VC貼 / 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ張 腰下：ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱ貼	木下地	木製	VC貼 / 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ張	木下地	洗面化粧台入替
		改修	既存桧ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ張り　自然塗料塗替/ｻﾝﾀﾞｰ処理	――	――	腰上：VC貼替 / 既存石膏ﾎﾞｰﾄﾞ 腰下：ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱ貼替	――	塩ﾋﾞ製 目透かし型	VC貼 / GB-R9.5張	木下地	
	WC	既存	ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱ貼	木下地	――	腰上：VC貼 / 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ張 腰下：ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱ貼	木下地	木製	VC貼 / 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ張	木下地	
		改修	ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱ貼替	――	――	腰上：VC貼替 / 既存石膏ﾎﾞｰﾄﾞ 腰下：ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱ貼替	――	――	VC貼替 / 既存石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	――	

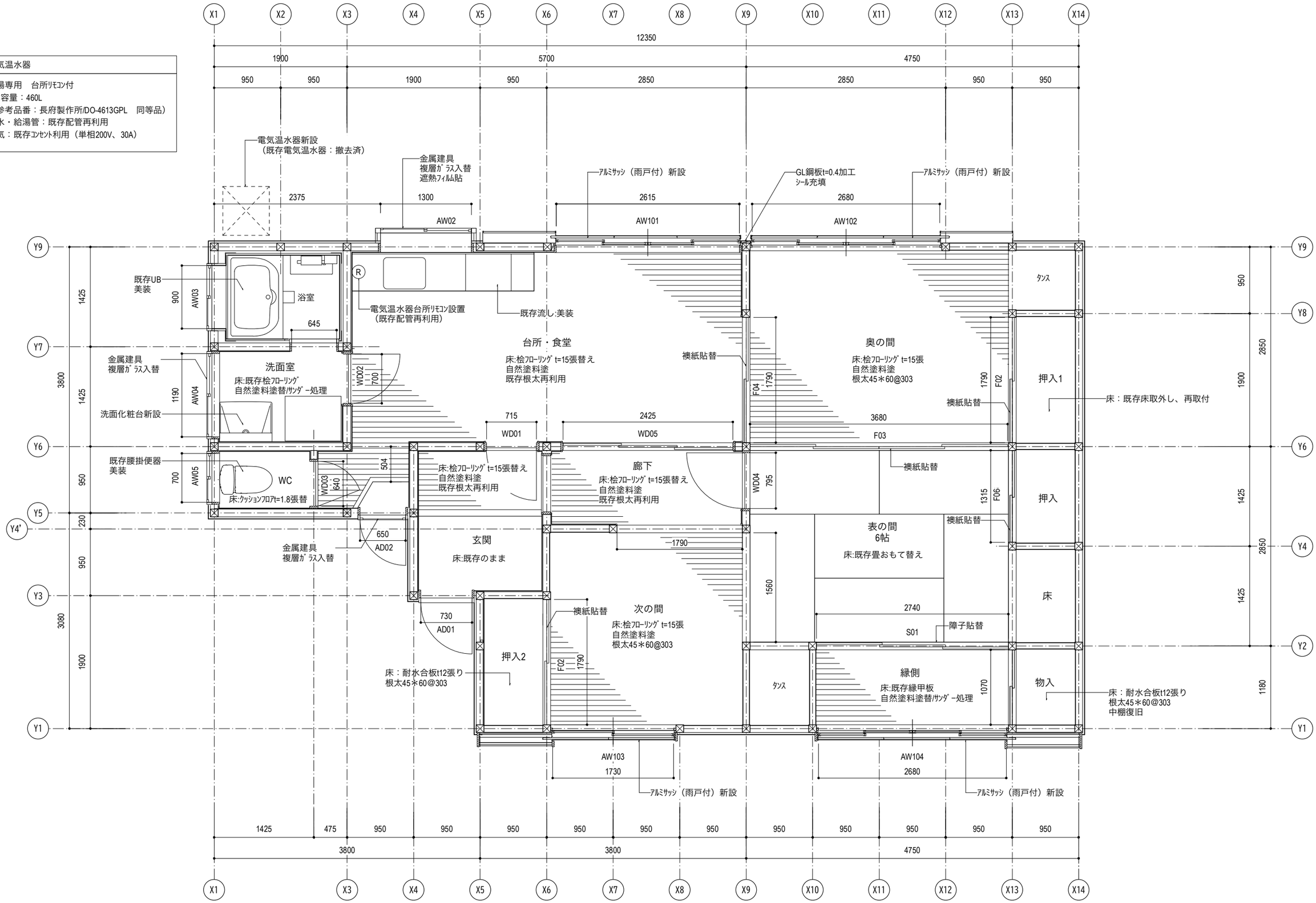


凡例	
	撤去部分を示す

鈴江章宏建築設計事務所	一級建築士事務所 高知県知事登録1133号	管理建築士　鈴江 章宏 一級建築士 第312930号	神野　崇 一級建築士 第293221号		project 空き家改修工事（松岡邸）	title 現況　平面図 date / scale 1:50	no. A10

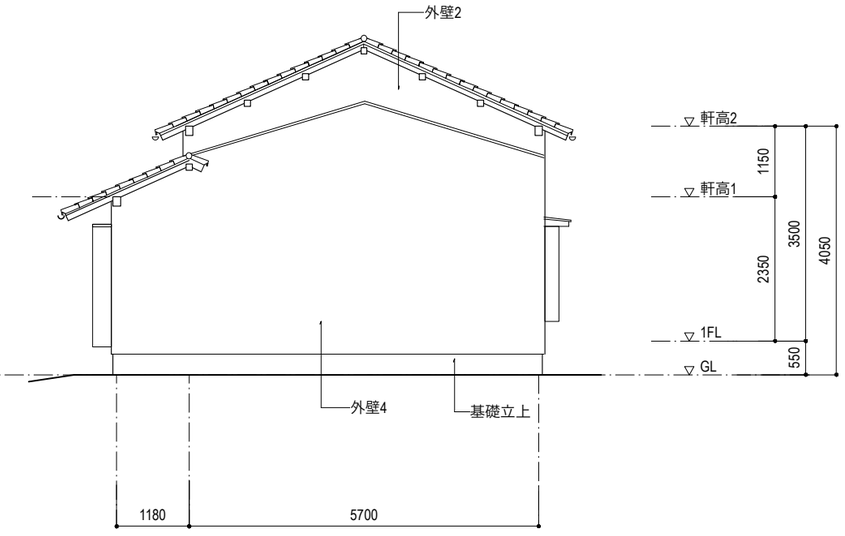
電気温水器

給湯専用　台所ﾘﾓｺﾝ付
ﾀﾝｸ容量：460L
（参考品番：長府製作所/DO-4613GPL　同等品）
給水・給湯管：既存配管再利用
電気：既存ｺﾝｾﾝﾄ利用（単相200V、30A）

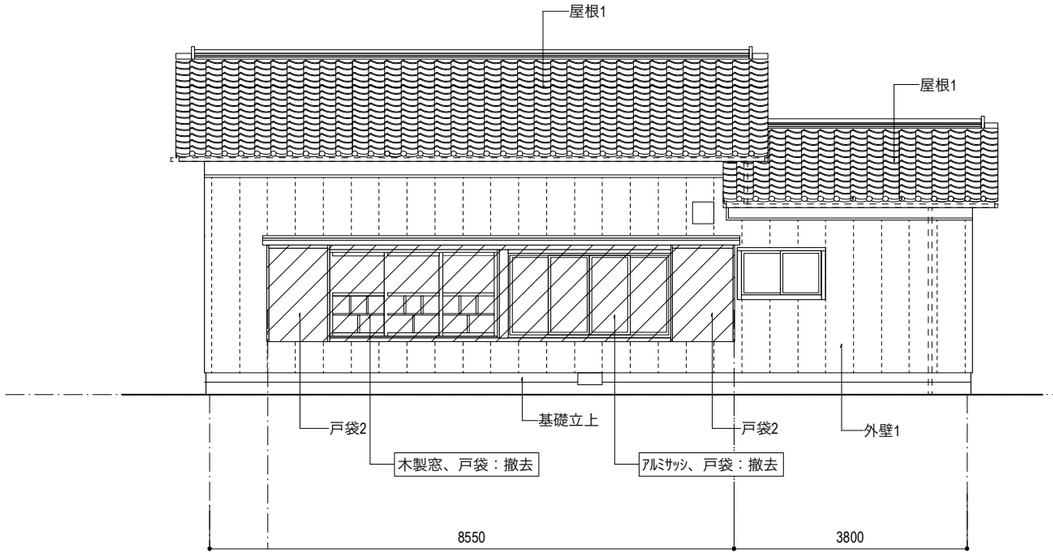


鈴江章宏建築設計事務所	一級建築士事務所 高知県知事登録1133号	管理建築士　鈴江 章宏 一級建築士 第312930号	神野　崇 一級建築士 第293221号		project 空き家改修工事（松岡邸）	title 改修　平面図 date　scale 1:50	no. A11

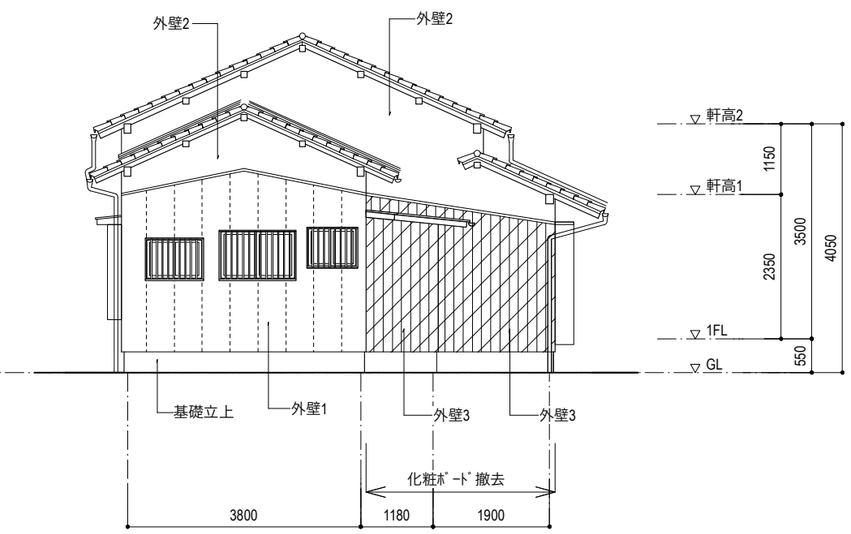
現況　南立面図



現況　東立面図



現況　北立面図



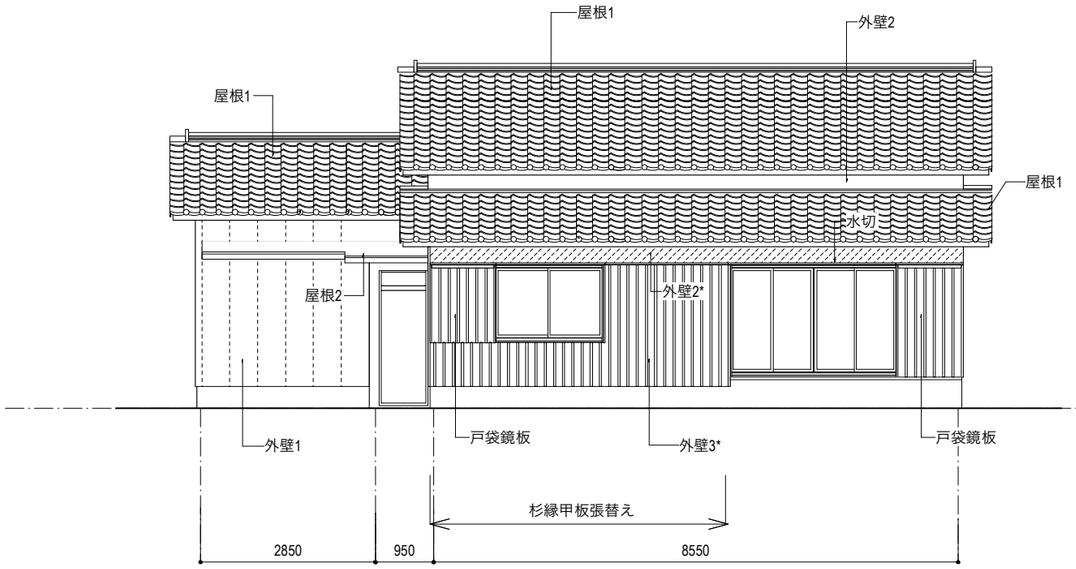
現況　西立面図

凡例	
▨	撤去範囲を示す

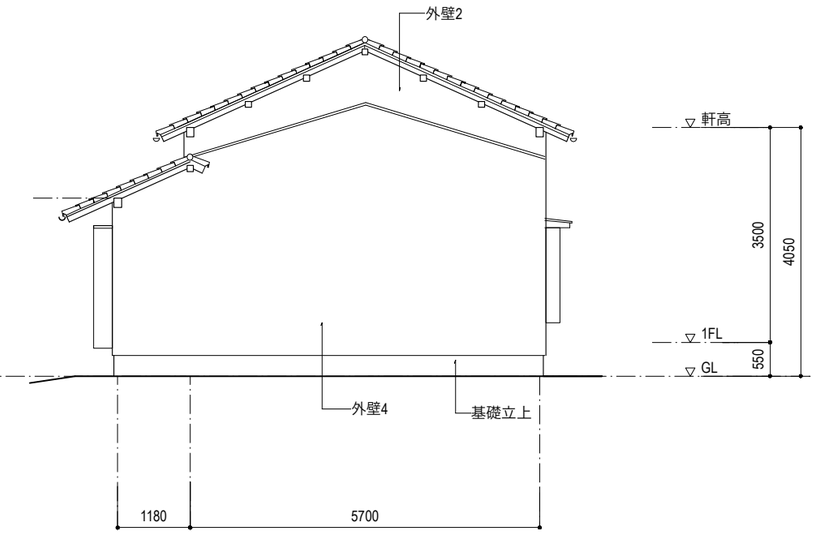
外部既存仕上表

部位	仕上	部位	仕上	部位	仕上
屋根1	日本瓦（釉薬瓦）葺き	外壁３	化粧ﾎﾞｰﾄﾞ張り	戸袋1	板張り
屋根2	カラー鋼板葺き	外壁4	トタン板張り	戸袋2	サイディング張り
外壁１	サイディング縦張り	基礎立上	モルタル塗り	竪樋	塩ビ製
外壁２	漆喰塗り	庇	カラー鋼板葺き	軒樋	塩ビ製

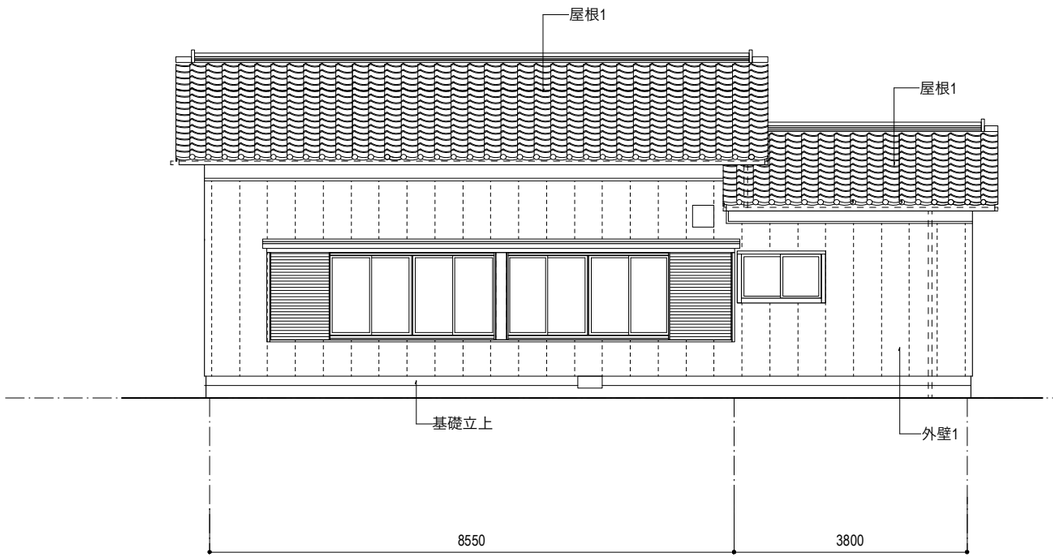
鈴江章宏建築設計事務所	一級建築士事務所 高知県知事登録1133号	管理建築士　鈴江 章宏 一級建築士 第312930号	神野　崇 一級建築士 第293221号		project	空き家改修工事（松岡邸）	title 現況　立面図 date / scale 1:100	no. A12



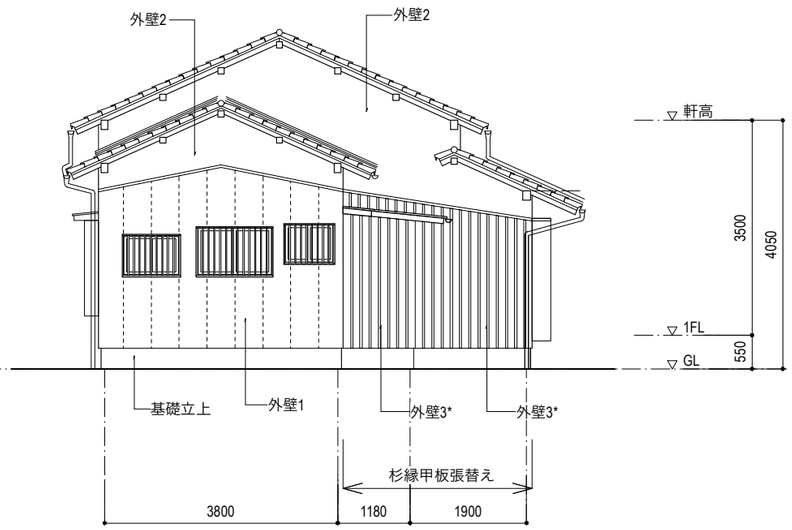
改修　南立面図



改修　東立面図



改修　北立面図



改修　西立面図

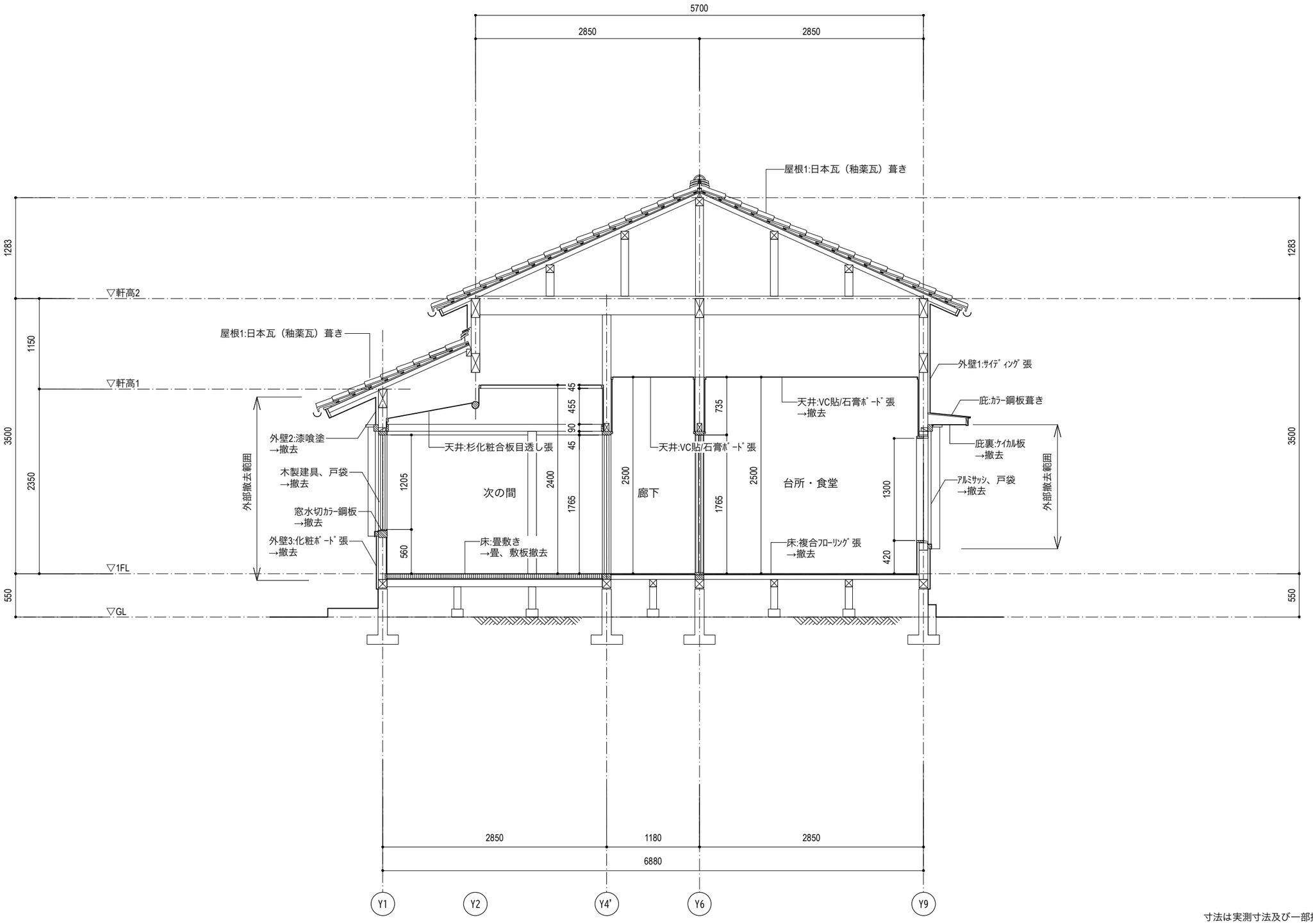
（凡例）

漆喰塗替えを示す

外部仕上表

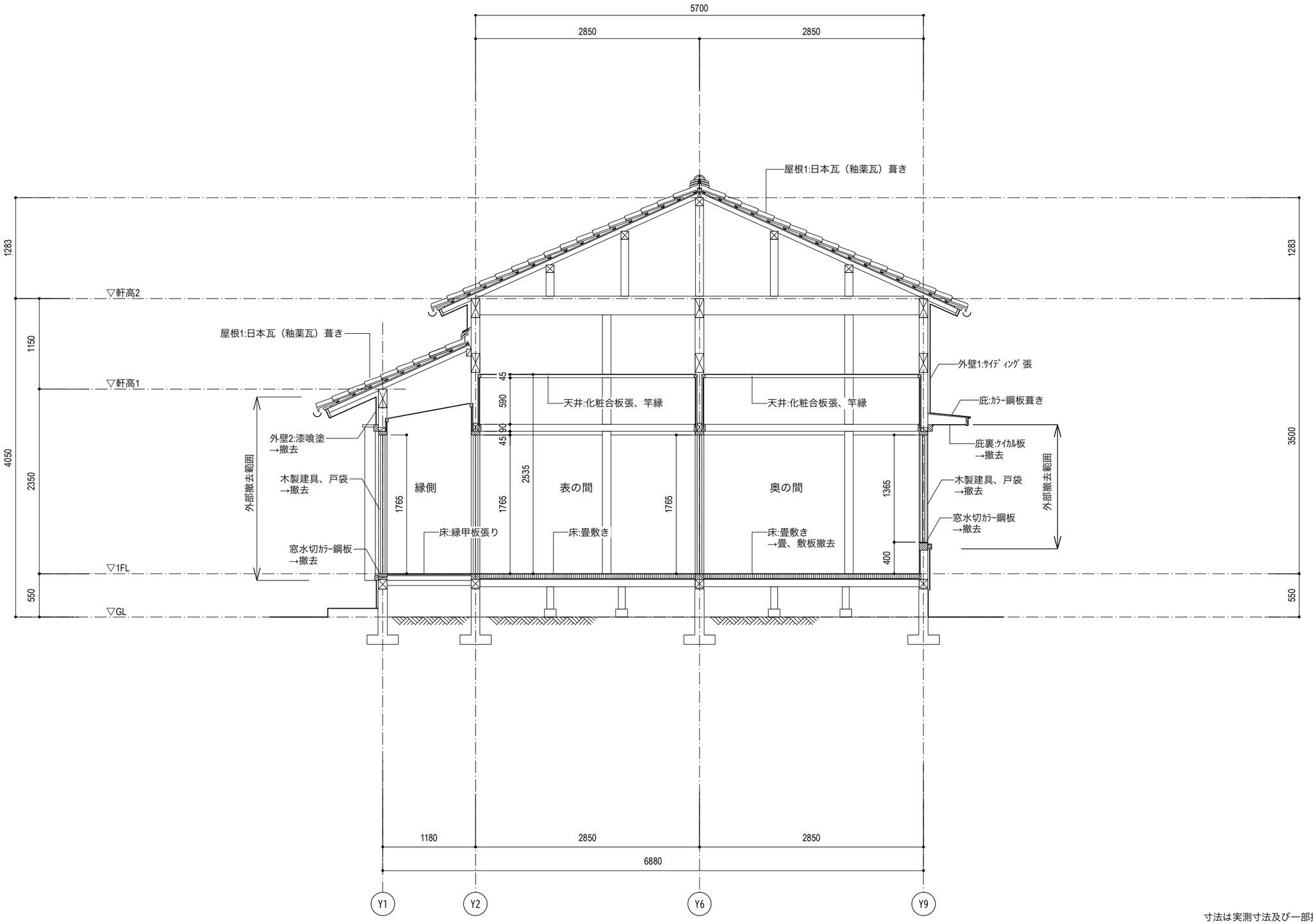
部位	仕上	部位	仕上	部位	仕上
屋根1	【既存】日本瓦（釉薬瓦）葺き	外壁３*	杉竪羽目板張 厚12　WP塗	竪樋	【既存】塩ビ製
屋根2	【既存】カラー鋼板葺き	外壁4	【既存】トタン板張り	軒樋	【既存】塩ビ製
外壁１	【既存】サイディング縦張り	基礎立上	【既存】モルタル塗り	水切	GI鋼板t＝0.4
外壁２	【既存】漆喰塗り	庇	【既存】カラー鋼板葺き		
外壁２*	漆喰塗/ﾓﾙﾀﾙ塗t=25/防水ｼｰﾄ張/ﾗｽ板	戸袋鏡板	杉竪羽目板張 厚12　WP塗（ｱﾙﾐｻｯｼ戸袋枠）		

鈴江章宏建築設計事務所	一級建築士事務所 高知県知事登録1133号	管理建築士　鈴江 章宏 一級建築士 第312930号	神野　崇 一級建築士 第293221号		project 空き家改修工事（松岡邸）	title 改修　立面図		no. A13
						date	scale 1:100	



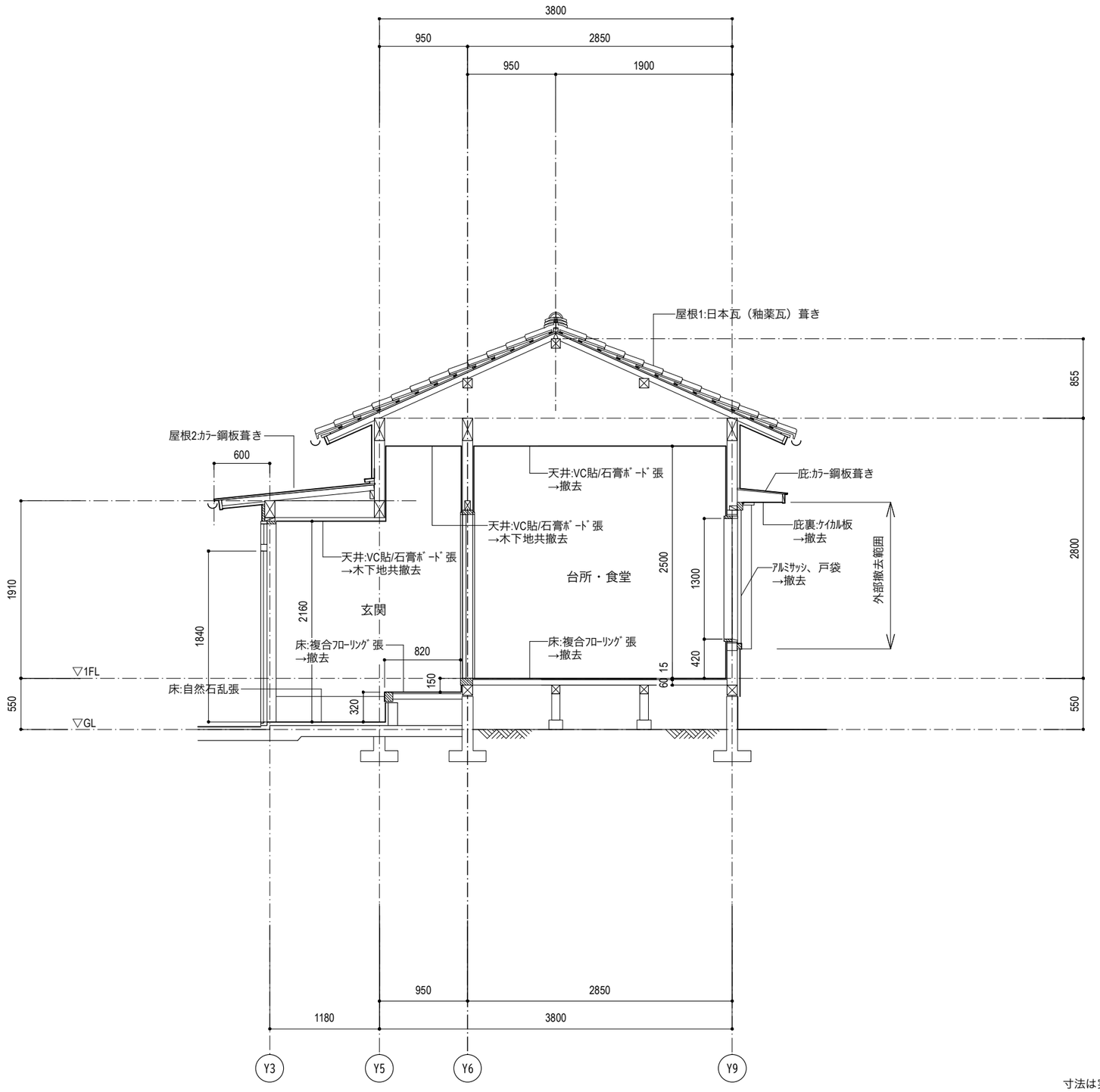
寸法は実測寸法及び一部推測によるものとする

鈴江章宏建築設計事務所	一級建築士事務所 高知県知事登録1133号	管理建築士　鈴江 章宏 一級建築士 第312930号	神野　崇 一級建築士 第293221号		project 空き家改修工事（松岡邸）	title 現況　矩計図（1） date　scale 1:50	no. A14



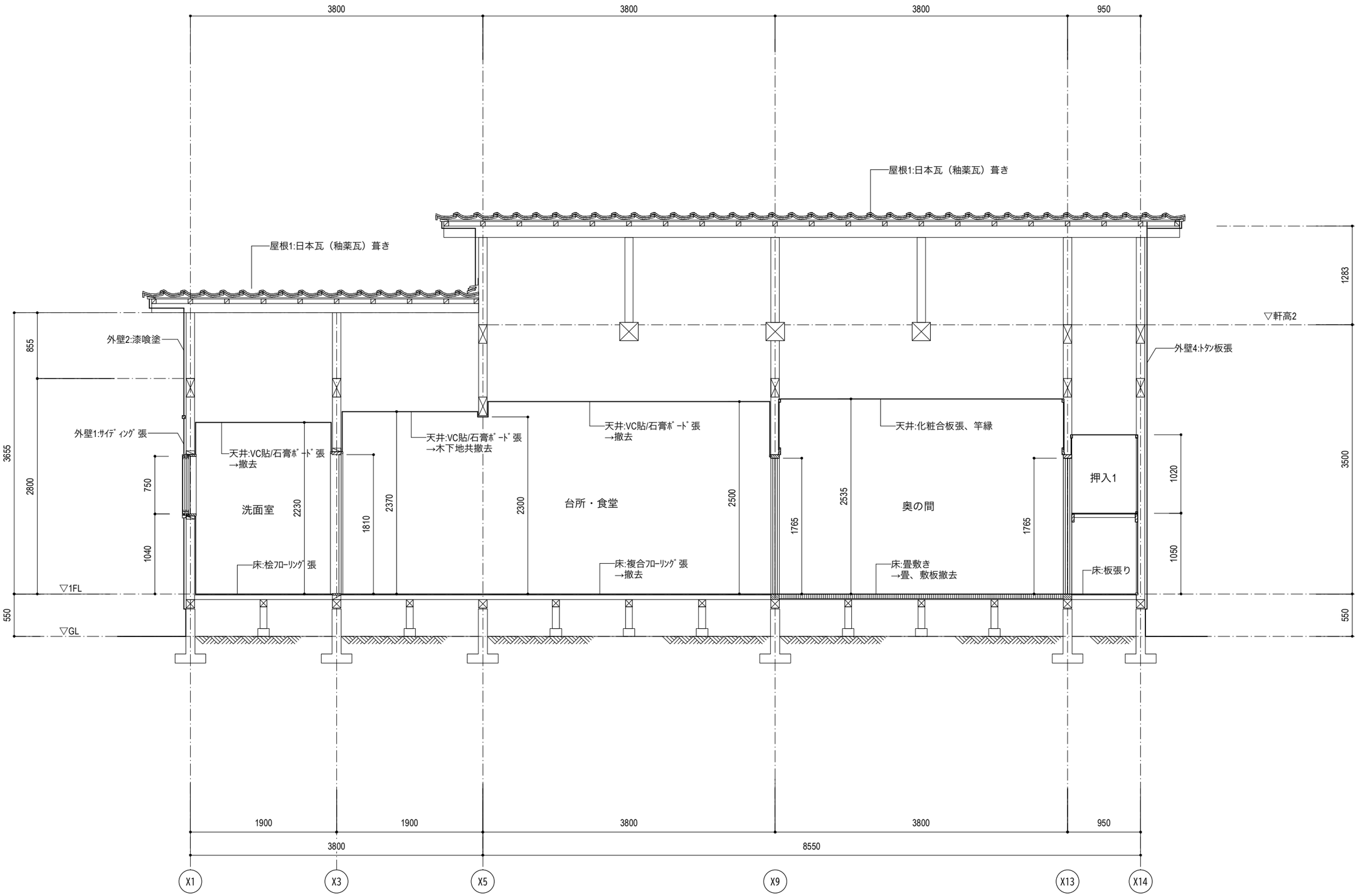
寸法は実測寸法及び一部推測によるものとする

鈴江章宏建築設計事務所	一級建築士事務所 高知県知事登録1133号	管理建築士　鈴江 章宏 一級建築士 第312930号	神野　崇 一級建築士 第293221号		project 空き家改修工事（松岡邸）	title 現況　矩計図（2） date　scale 1:50	no. A15



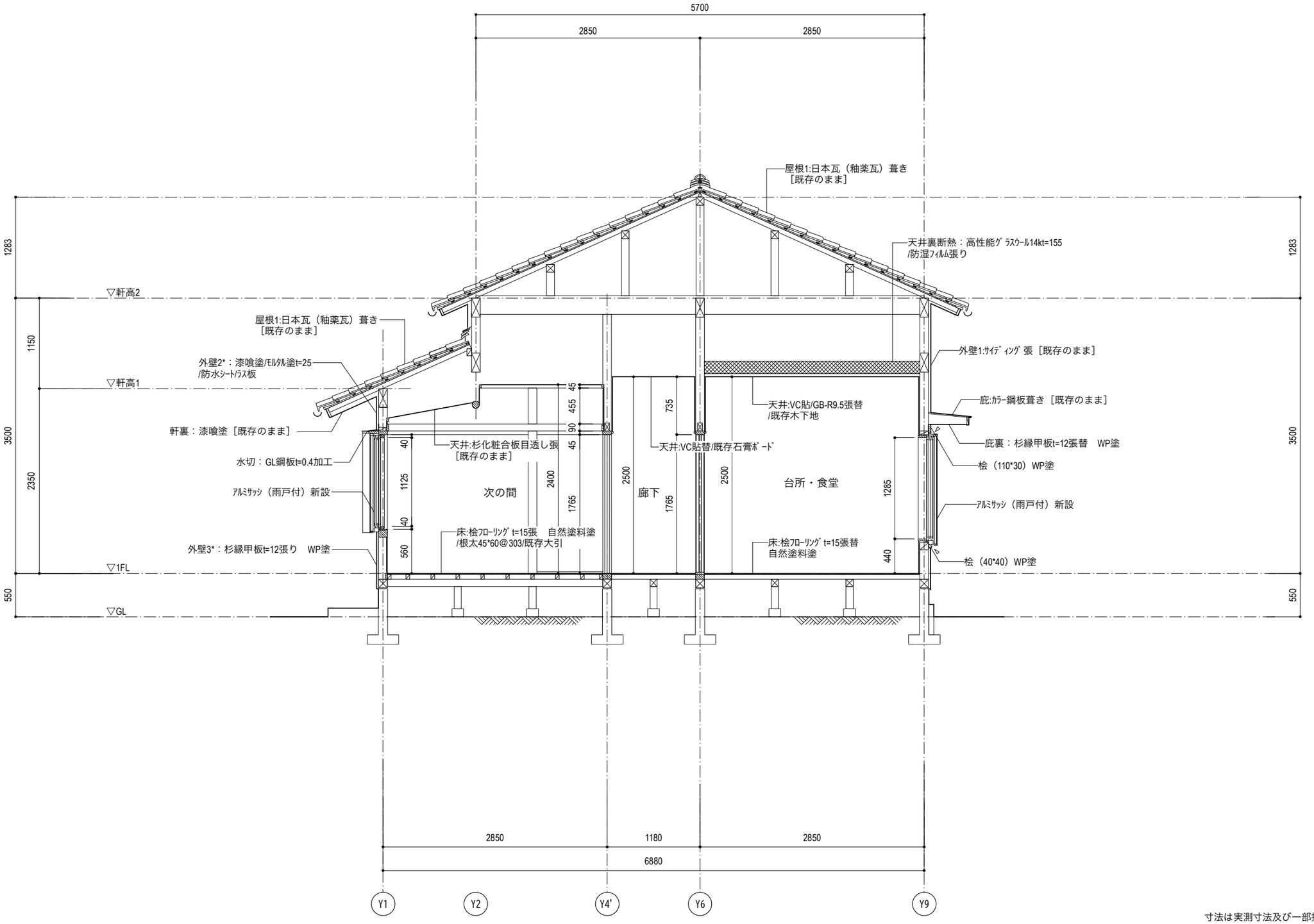
寸法は実測寸法及び一部推測によるものとする

鈴江章宏建築設計事務所	一級建築士事務所 高知県知事登録1133号	管理建築士　鈴江 章宏 一級建築士 第312930号	神野　崇 一級建築士 第293221号		project 空き家改修工事（松岡邸）	title 現況　矩計図（3） date / scale 1:50	no. **A16**



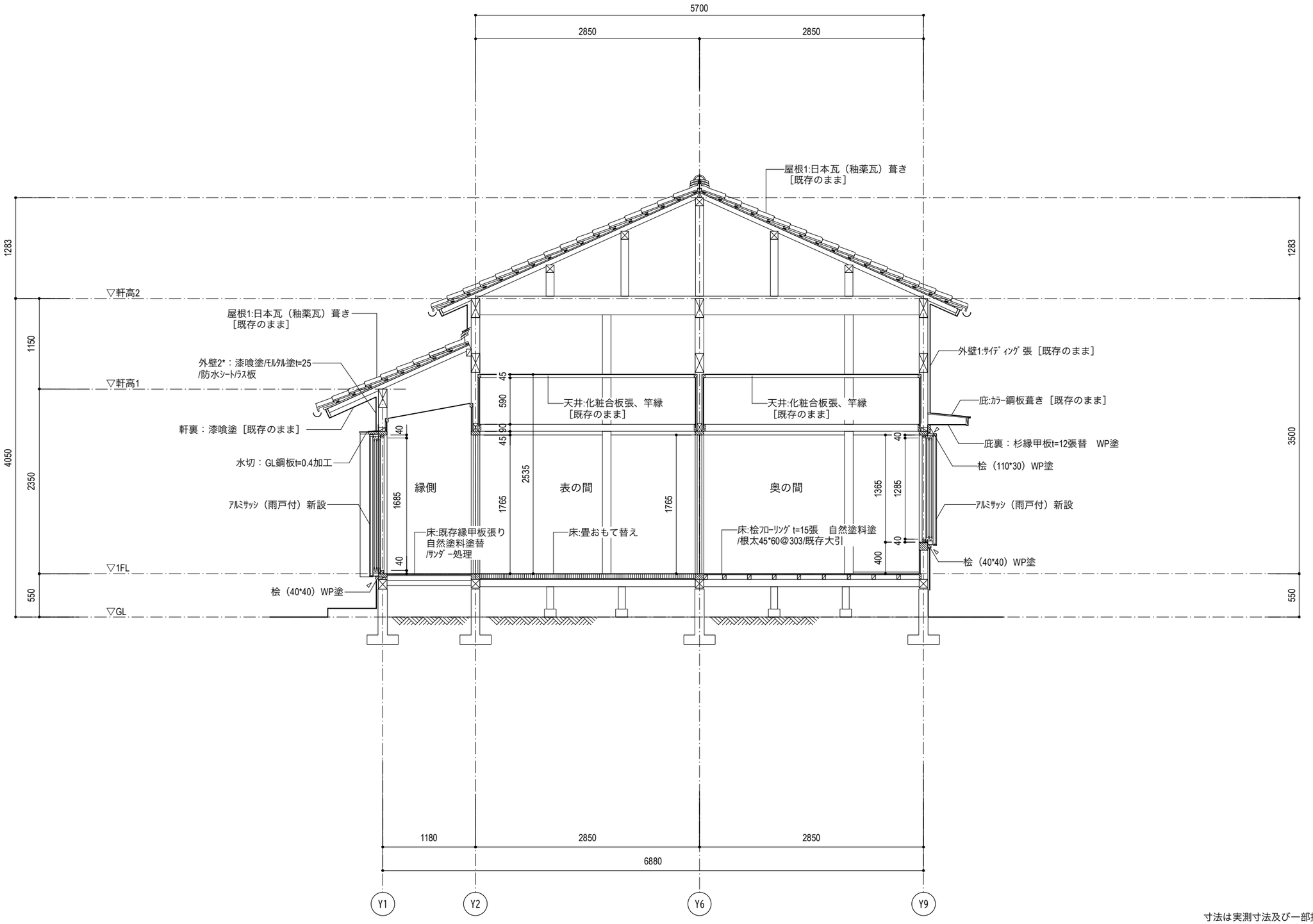
寸法は実測寸法及び一部推測によるものとする

鈴江章宏建築設計事務所	一級建築士事務所 高知県知事登録1133号	管理建築士　鈴江 章宏 一級建築士 第312930号	神野　崇 一級建築士 第293221号		project 空き家改修工事（松岡邸）	title 現況　矩計図（4）		no. A17
						date	scale 1:50	



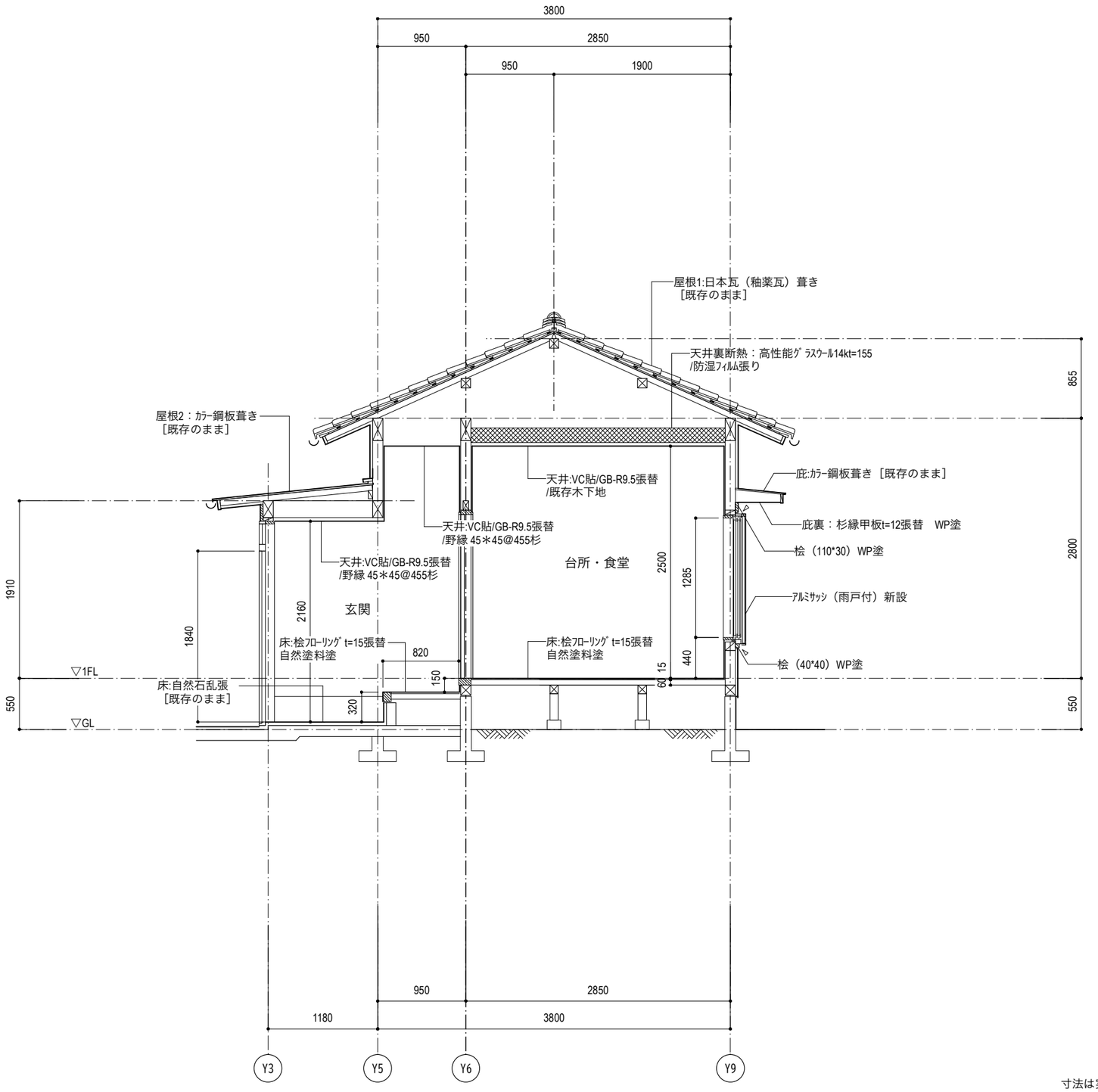
寸法は実測寸法及び一部推測によるものとする

鈴江章宏建築設計事務所	一級建築士事務所 高知県知事登録1133号	管理建築士　鈴江 章宏 一級建築士 第312930号	神野　崇 一級建築士 第293221号		project 空き家改修工事（松岡邸）	title 改修　矩計図（1） date / scale 1:50	no. A18



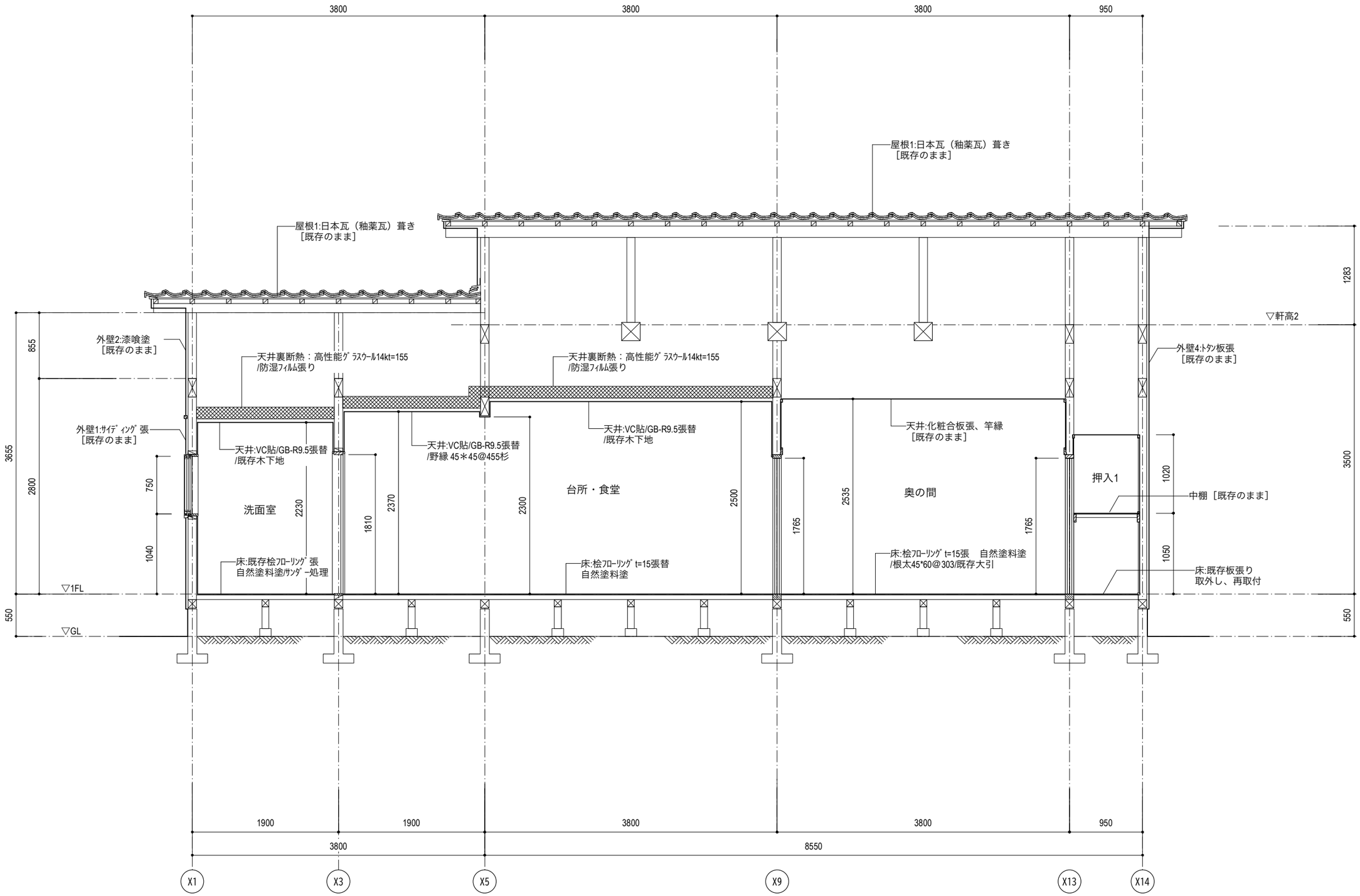
寸法は実測寸法及び一部推測によるものとする

鈴江章宏建築設計事務所	一級建築士事務所 高知県知事登録1133号	管理建築士　鈴江 章宏 一級建築士 第312930号	神野　崇 一級建築士 第293221号		project 空き家改修工事（松岡邸）	title 改修　矩計図（2） date	scale 1:50	no. A19



寸法は実測寸法及び一部推測によるものとする

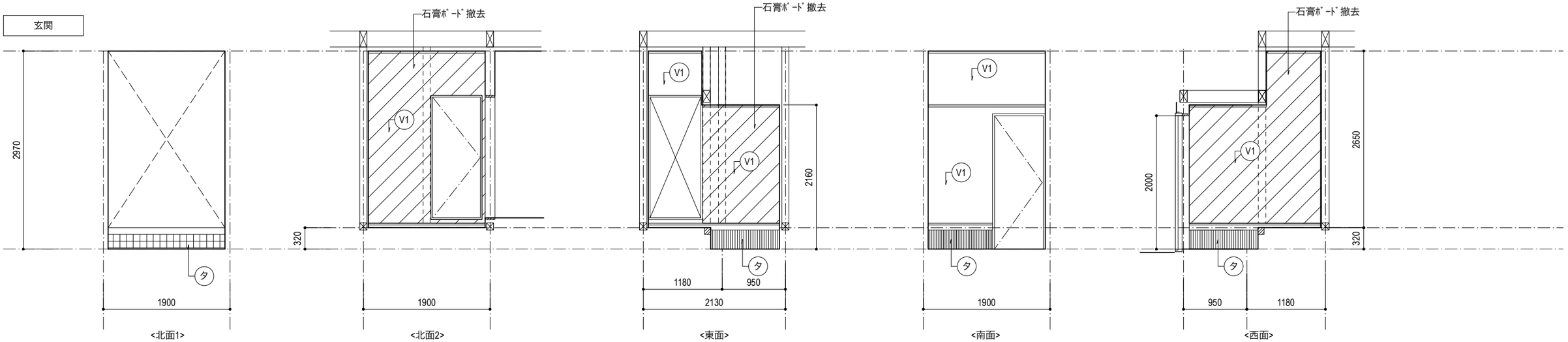
鈴江章宏建築設計事務所	一級建築士事務所 高知県知事登録1133号	管理建築士　鈴江 章宏 一級建築士 第312930号	神野　崇 一級建築士 第293221号		project 空き家改修工事（松岡邸）	title 改修　矩計図（3） date	scale 1:50	no. A20



寸法は実測寸法及び一部推測によるものとする

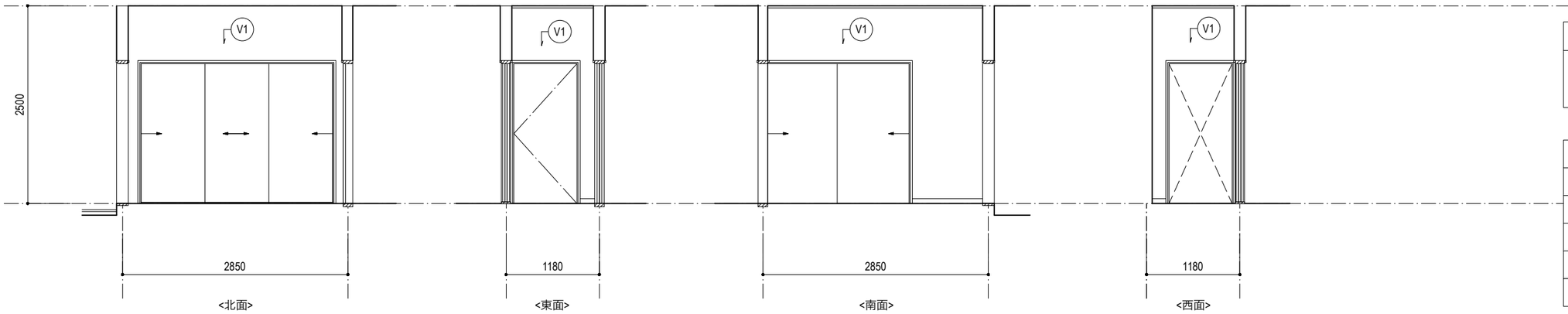
鈴江章宏建築設計事務所	一級建築士事務所 高知県知事登録1133号	管理建築士　鈴江 章宏 一級建築士 第312930号	神野　崇 一級建築士 第293221号		project 空き家改修工事（松岡邸）	title 改修　矩計図（4）		no. **A21**
						date	scale 1:50	

玄関



<北面1> <北面2> <東面> <南面> <西面>

廊下

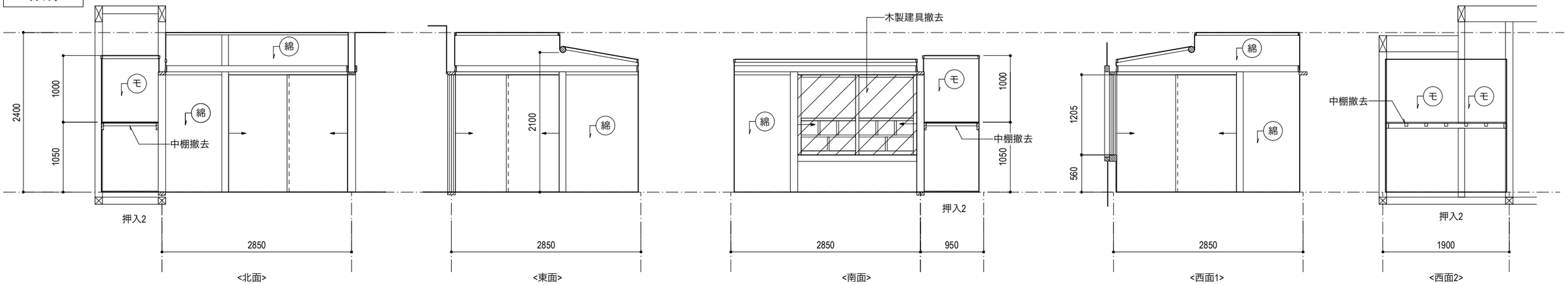


<北面> <東面> <南面> <西面>

凡例	
／／／	撤去を示す

仕上記号表（既存）	
V1	VC貼 / 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ下地
綿	綿壁 / ﾓﾙﾀﾙ塗 / ﾎﾞｰﾄﾞ下地
モ	ﾓﾙﾀﾙ塗 / ﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ下地
タ	ﾀｲﾙ張り
ク	ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱ貼

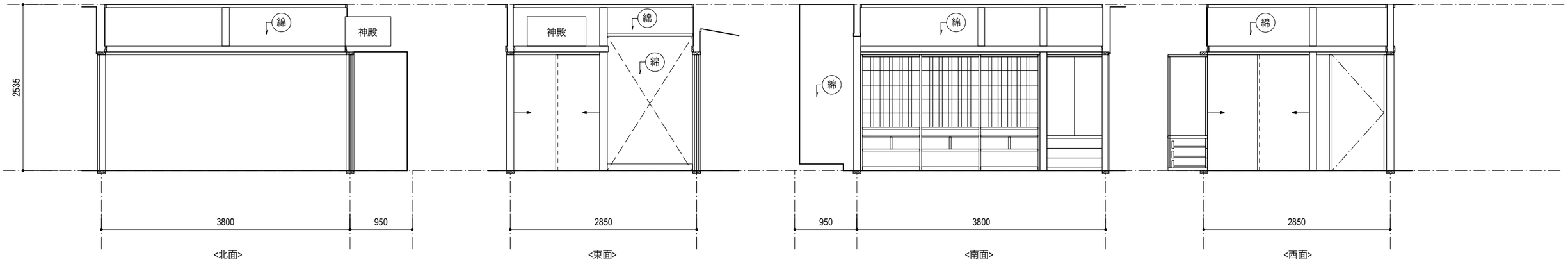
次の間



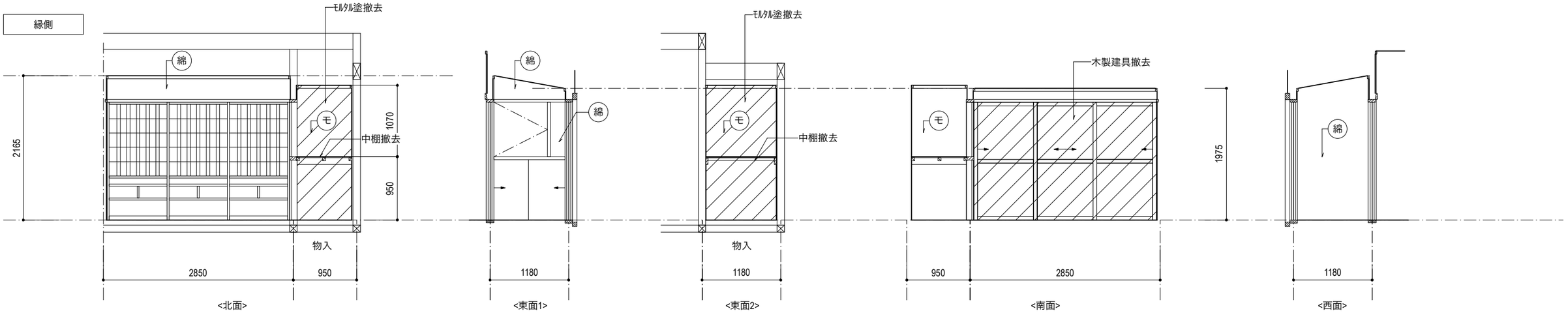
<北面> <東面> <南面> <西面1> <西面2>

鈴江章宏建築設計事務所	一級建築士事務所 高知県知事登録1133号	管理建築士　鈴江 章宏 一級建築士 第312930号	神野　崇 一級建築士 第293221号		project 空き家改修工事（松岡邸）	title 現況　展開図（解体撤去図）（1） date / scale 1:60	no. A22

表の間



縁側

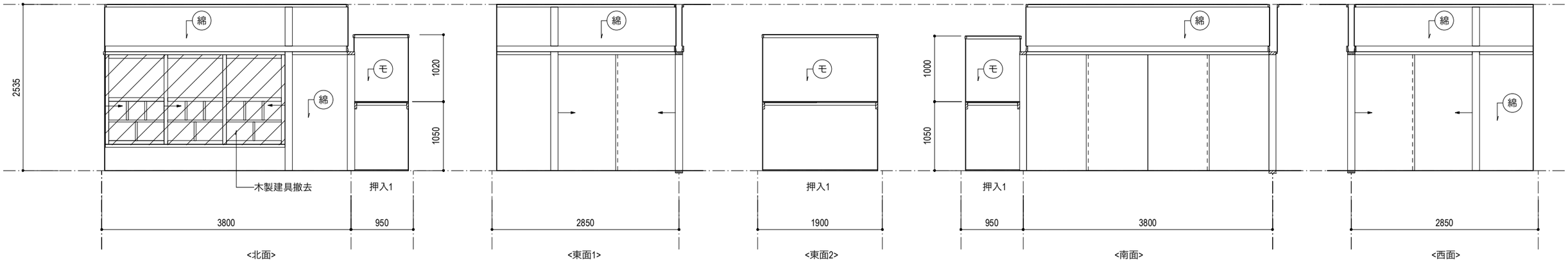


凡例	
	撤去を示す

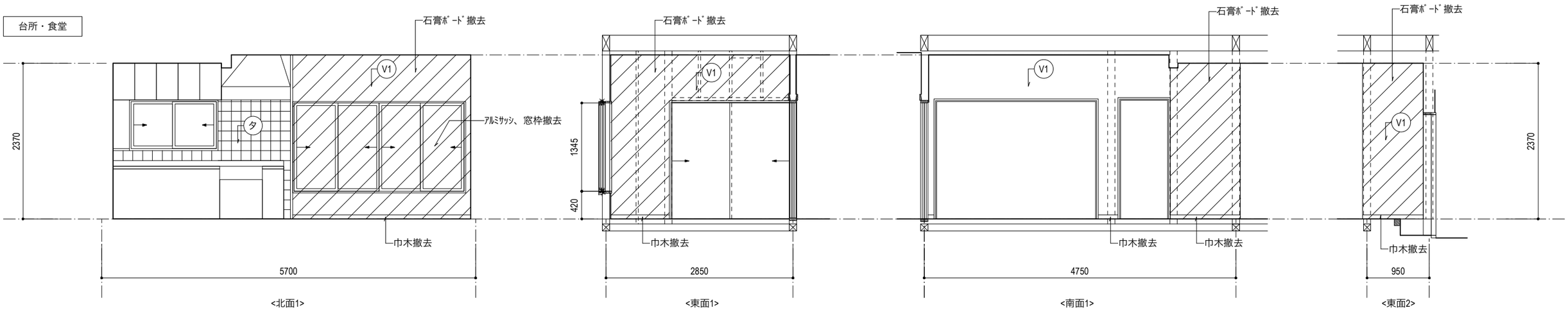
仕上記号表（既存）	
V1	VC貼 / 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ下地
綿	綿壁 / ﾓﾙﾀﾙ塗 / ﾎﾞｰﾄﾞ下地
モ	ﾓﾙﾀﾙ塗 / ﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ下地
タ	ﾀｲﾙ張り
ク	ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱ貼

鈴江章宏建築設計事務所	一級建築士事務所 高知県知事登録1133号	管理建築士　鈴江 章宏 一級建築士 第312930号	神野　崇 一級建築士 第293221号		project 空き家改修工事（松岡邸）	title 現況　展開図（解体撤去図）（2）		no. A23
						date	scale 1:60	

奥の間

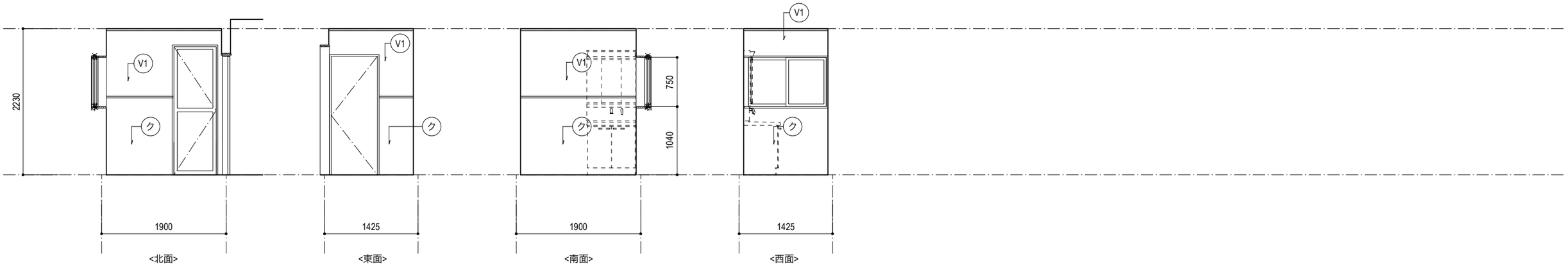


台所・食堂

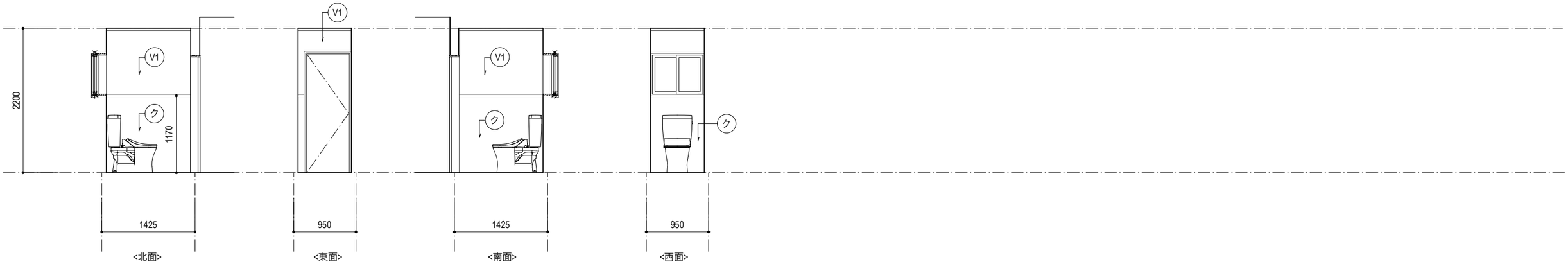


鈴江章宏建築設計事務所	一級建築士事務所 高知県知事登録1133号	管理建築士　鈴江 章宏 一級建築士 第312930号	神野　崇 一級建築士 第293221号		project 空き家改修工事（松岡邸）	title 現況　展開図（解体撤去図）（3）	no. A24
						date / scale 1:60	

洗面室



WC

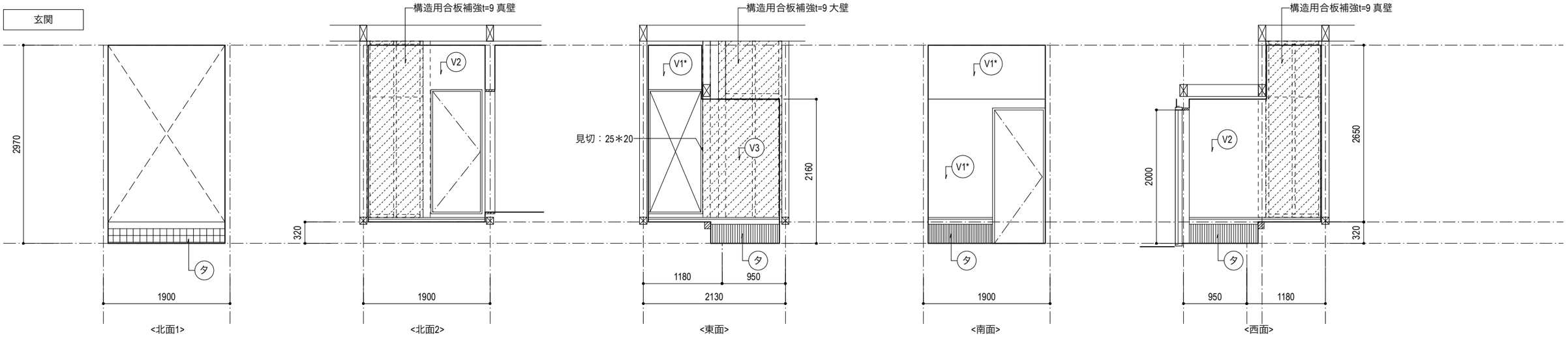


凡例	
	撤去を示す

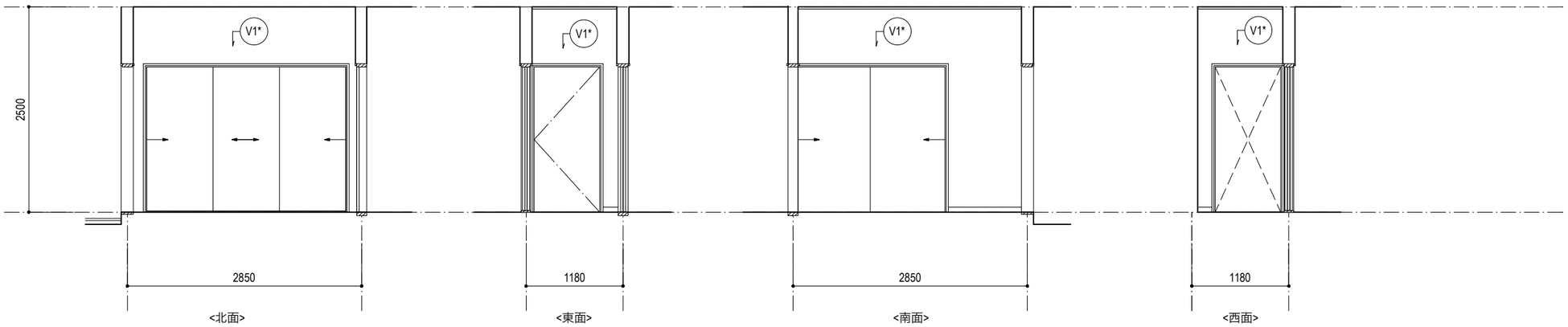
仕上記号表（既存）	
V1	VC貼 / 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ下地
綿	綿壁 / ﾓﾙﾀﾙ塗 / ﾎﾞｰﾄﾞ下地
モ	ﾓﾙﾀﾙ塗 / ﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ下地
タ	ﾀｲﾙ張り
ク	ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱ貼

鈴江章宏建築設計事務所	一級建築士事務所 高知県知事登録1133号	管理建築士　鈴江 章宏 一級建築士 第312930号	神野　崇 一級建築士 第293221号		project 空き家改修工事（松岡邸）	title 現況　展開図（解体撤去図）（4）		no. A25
						date	scale 1:60	

玄関



廊下

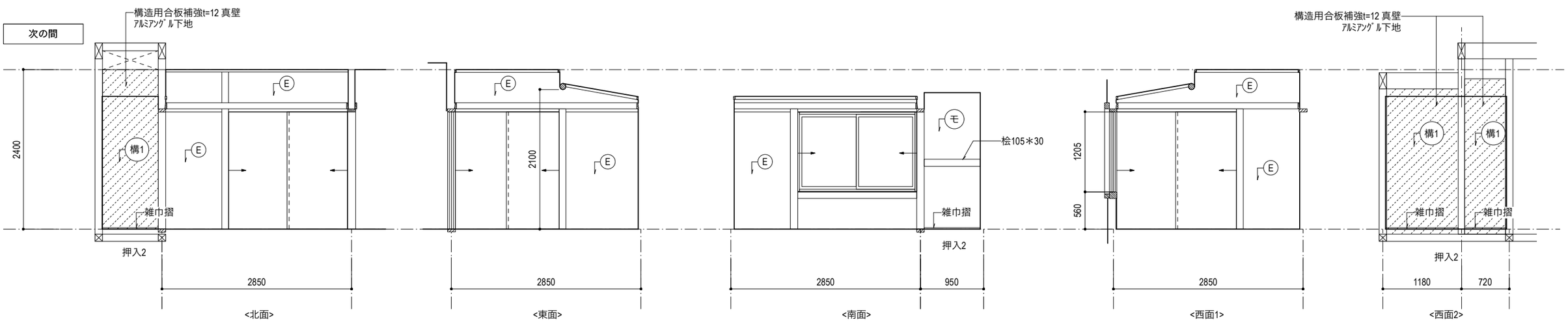


凡例	
	構造用合板補強を示す

仕上記号表（改修）	
V1*	VC貼替え / 既存石膏ﾎﾞｰﾄﾞ
V2	VC貼 / GB-R12.5張
V3	VC貼 / 耐水合板t=4張 / 構造用合板t=9
E	EP塗 / 既存綿壁剥落とし　下地調整材塗
構1	構造用合板t =12張 / 既存ﾓﾙﾀﾙ壁
構2	構造用合板t =12張 自然塗料塗
ク*	ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱ貼替え

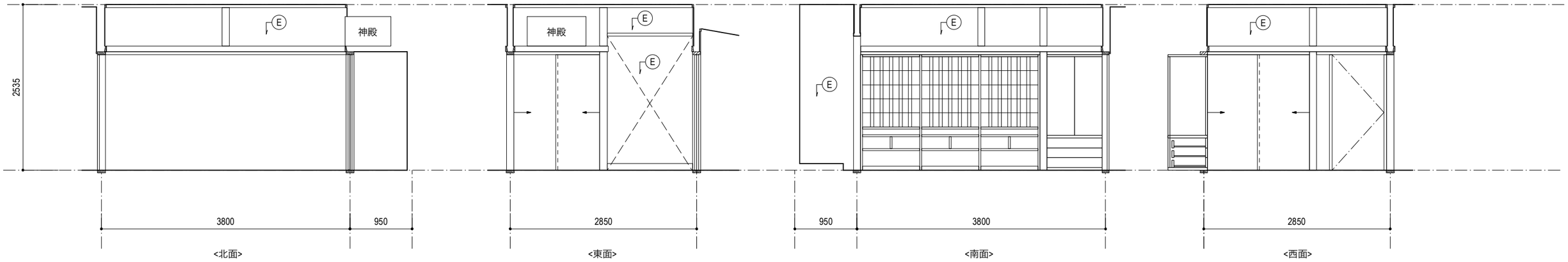
・ * は、既存下地を再利用、仕上げのみを貼替える

次の間

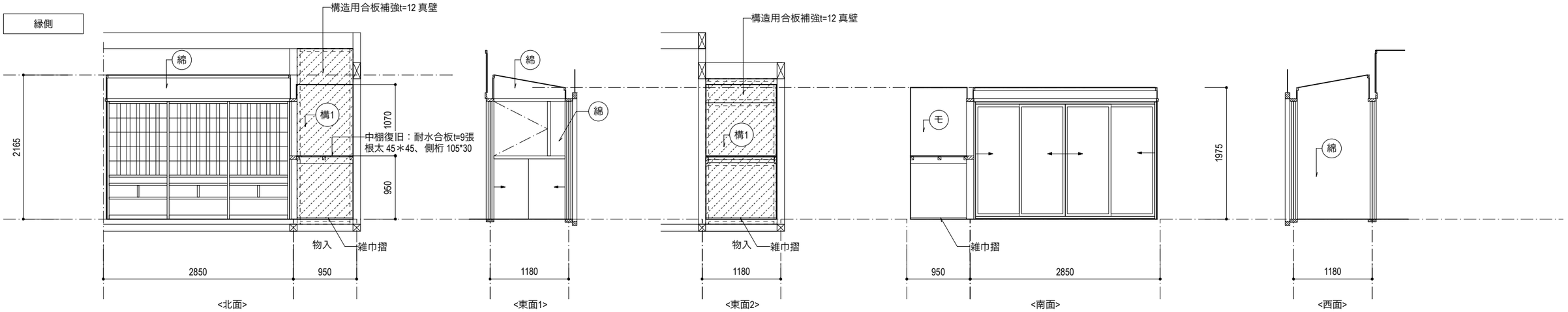


鈴江章宏建築設計事務所	一級建築士事務所 高知県知事登録1133号	管理建築士　鈴江 章宏 一級建築士 第312930号	神野　崇 一級建築士 第293221号		project 空き家改修工事（松岡邸）	title 改修　展開図（1） date / scale 1:60	no. A26

表の間



縁側



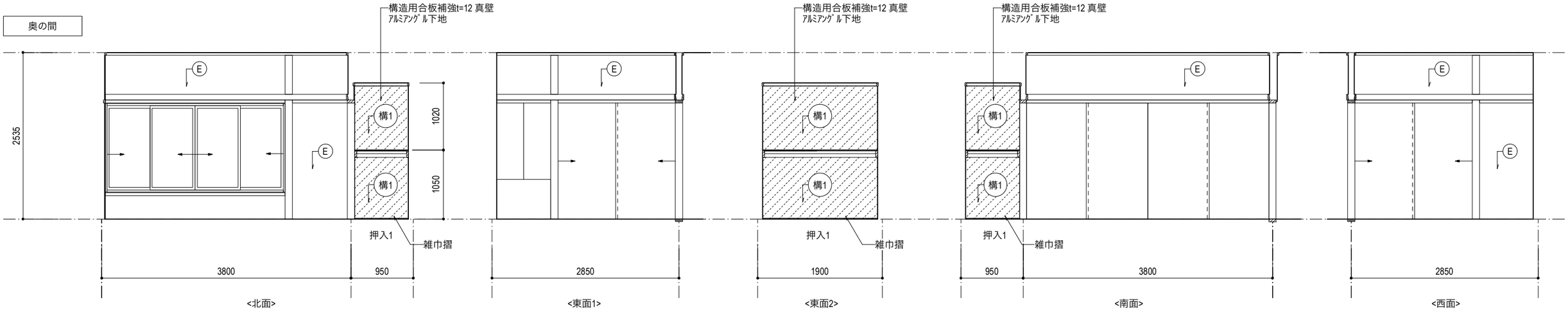
凡例	
	構造用合板補強を示す

仕上記号表（改修）	
V1*	VC貼替え / 既存石膏ﾎﾞｰﾄﾞ
V2	VC貼 / GB-R12.5張
V3	VC貼 / 耐水合板t=4張 / 構造用合板t=9
E	EP塗 / 既存綿壁剥落とし　下地調整材塗
構1	構造用合板t =12張 / 既存ﾓﾙﾀﾙ壁
構2	構造用合板t =12張 自然塗料塗
ク*	ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱ貼替え

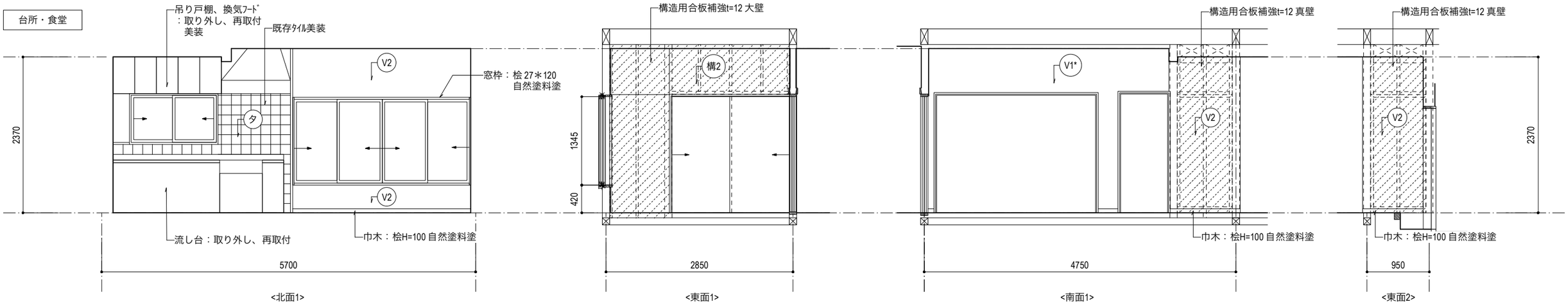
・ * は、既存下地を再利用、仕上げのみを貼替える

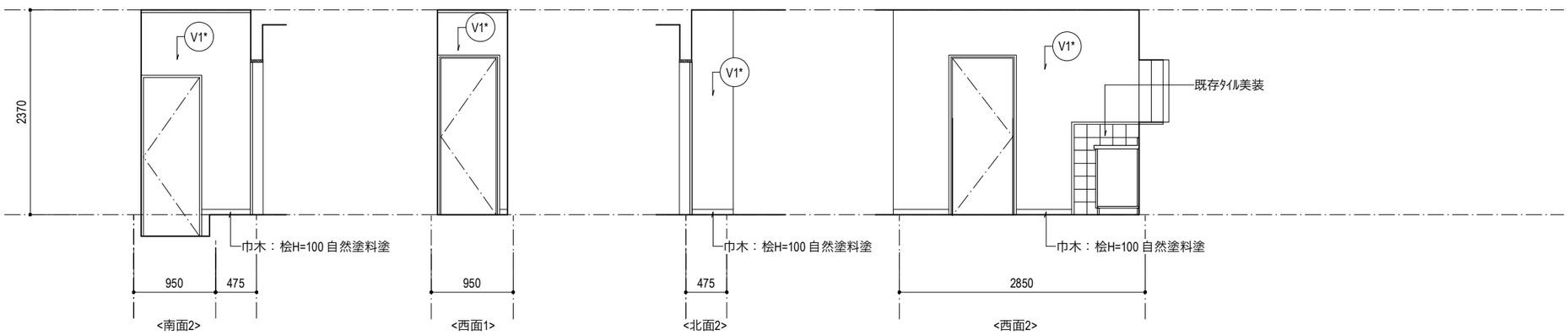
鈴江章宏建築設計事務所	一級建築士事務所 高知県知事登録1133号	管理建築士　鈴江 章宏 一級建築士 第312930号	神野　崇 一級建築士 第293221号		project 空き家改修工事（松岡邸）	title 改修　展開図（2）		no. A27
						date	scale 1:60	

奥の間



台所・食堂





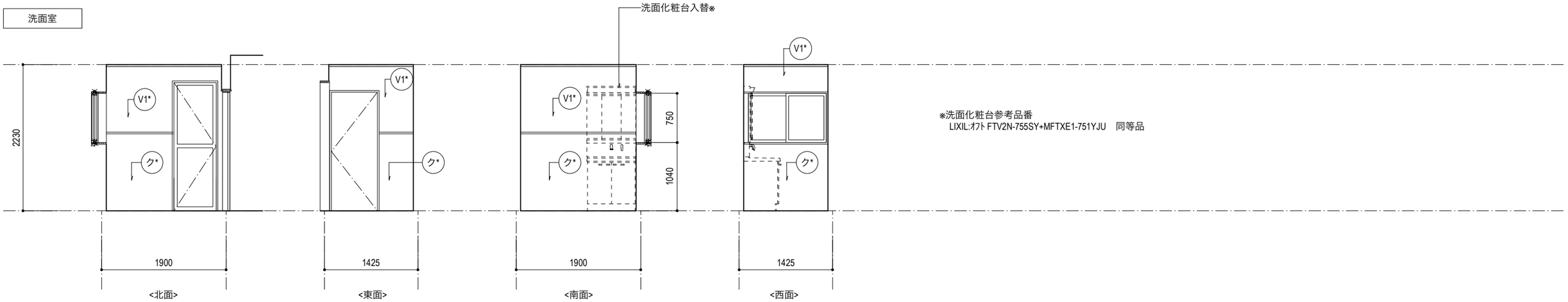
凡例	
	構造用合板補強を示す

仕上記号表（改修）	
V1*	VC貼替え / 既存石膏ﾎﾞｰﾄﾞ
V2	VC貼 / GB-R12.5張
V3	VC貼 / 耐水合板t=4張 / 構造用合板t=9
E	EP塗 / 既存綿壁剥落とし　下地調整材塗
構1	構造用合板t =12張 / 既存ﾓﾙﾀﾙ壁
構2	構造用合板t =12張 自然塗料塗
ク*	ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱ貼替え

・ * は、既存下地を再利用、仕上げのみを貼替える

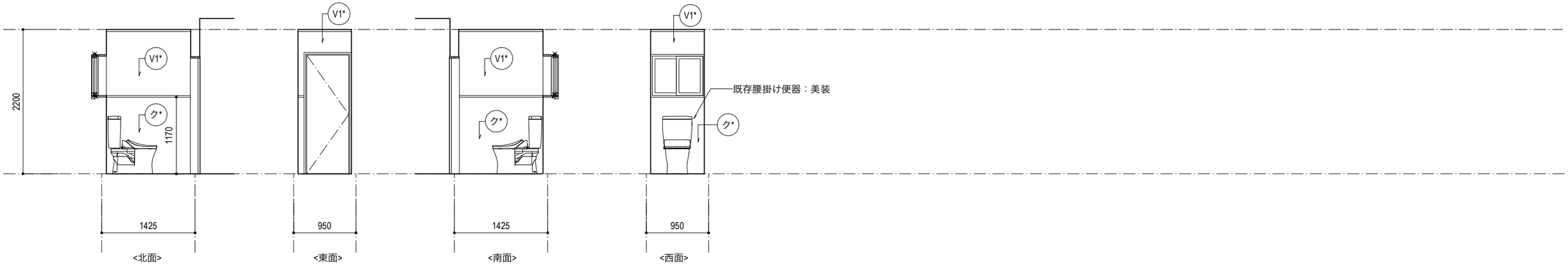
鈴江章宏建築設計事務所	一級建築士事務所 高知県知事登録1133号	管理建築士　鈴江 章宏 一級建築士 第312930号	神野　崇 一級建築士 第293221号		project	空き家改修工事（松岡邸）	title	改修　展開図（3）	no. A28
							date	scale 1:60	

洗面室



※洗面化粧台参考品番
LIXIL:ｵﾌﾄ FTV2N-755SY+MFTXE1-751YJU　同等品

WC

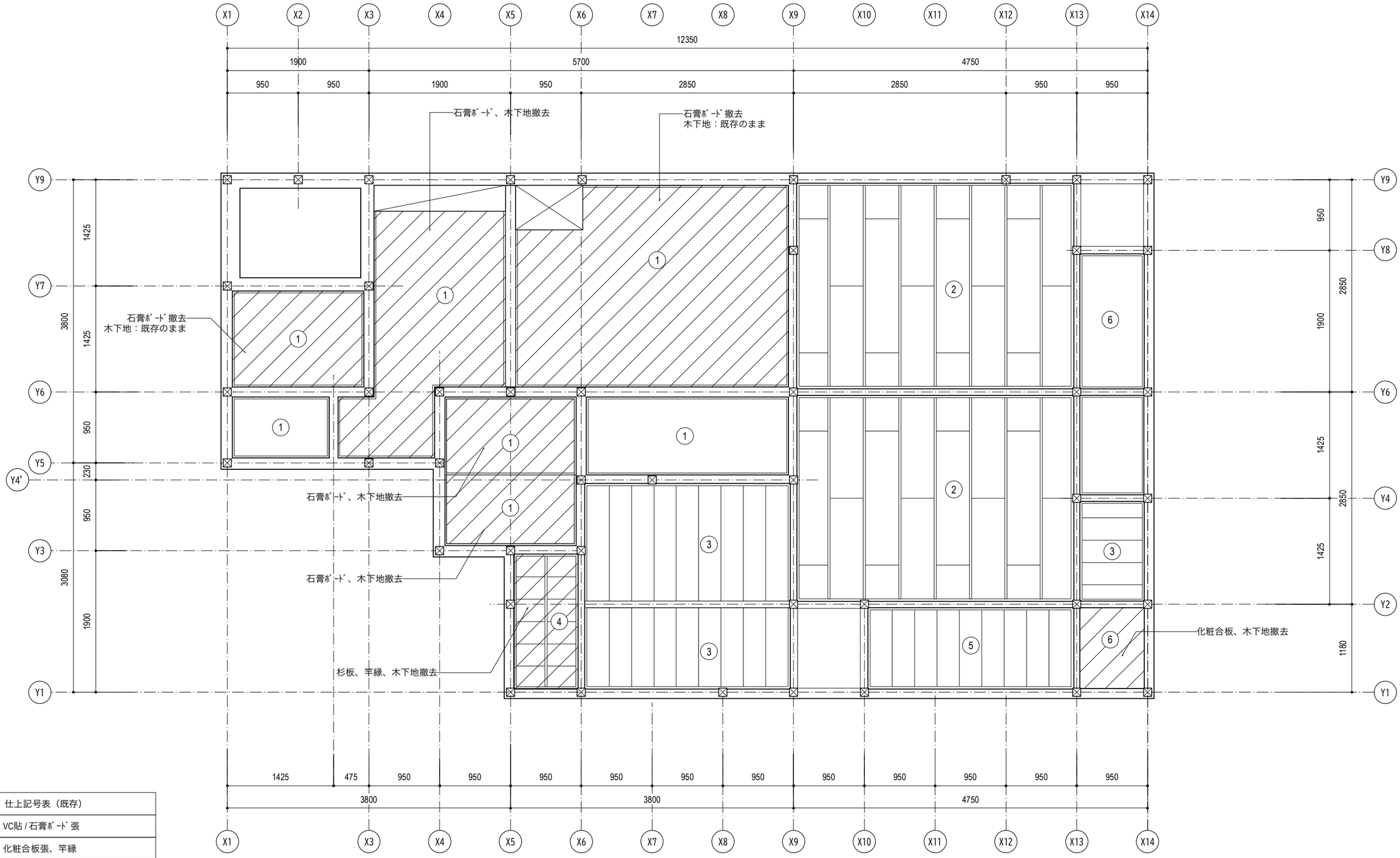


凡例	
▨	構造用合板補強を示す

仕上記号表（改修）	
V1*	VC貼替え / 既存石膏ﾎﾞｰﾄﾞ
V2	VC貼 / GB-R12.5張
V3	VC貼 / 耐水合板t=4張 / 構造用合板t=9
E	EP塗 / 既存綿壁剥落とし　下地調整材塗
構1	構造用合板t =12張 / 既存ﾓﾙﾀﾙ壁
構2	構造用合板t =12張 自然塗料塗
ク*	ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱ貼替え

・ * は、既存下地を再利用、仕上げのみを貼替える

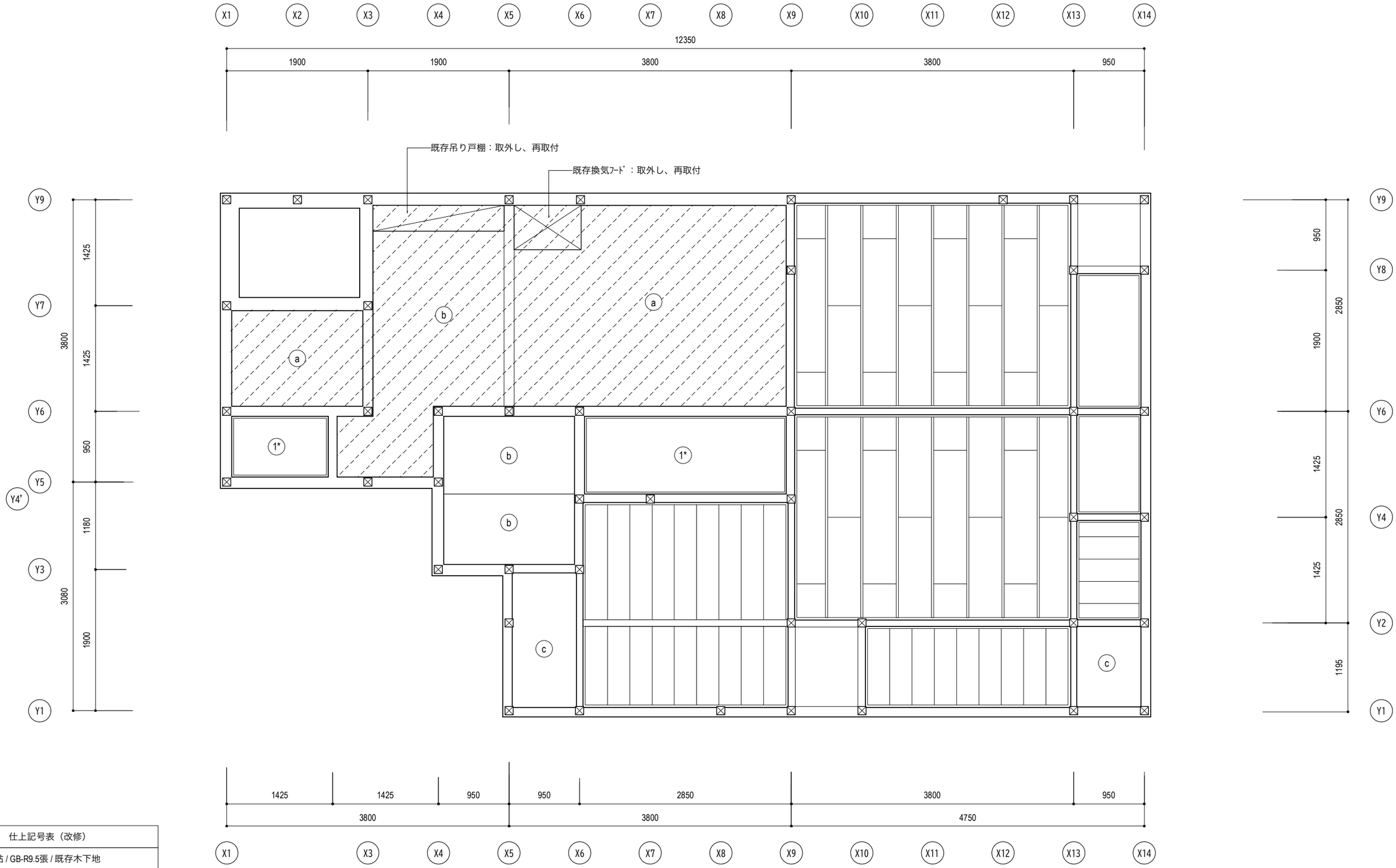
鈴江章宏建築設計事務所	一級建築士事務所 高知県知事登録1133号	管理建築士　鈴江 章宏 一級建築士 第312930号	神野　崇 一級建築士 第293221号		project 空き家改修工事（松岡邸）	title 改修　展開図（4） date / scale 1:60	no. A29



仕上記号表（既存）	
1	VC貼 / 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ張
2	化粧合板張、竿縁
3	杉合板　目透かし張
4	杉板張、竿縁
5	化粧合板　目透かし張
6	化粧合板張

凡例	
	撤去範囲を示す

鈴江章宏建築設計事務所	一級建築士事務所 高知県知事登録1133号	管理建築士　鈴江 章宏 一級建築士 第312930号	神野　崇 一級建築士 第293221号		project 空き家改修工事（松岡邸）	title 現況　天井伏図 date / scale 1:50	no. A30



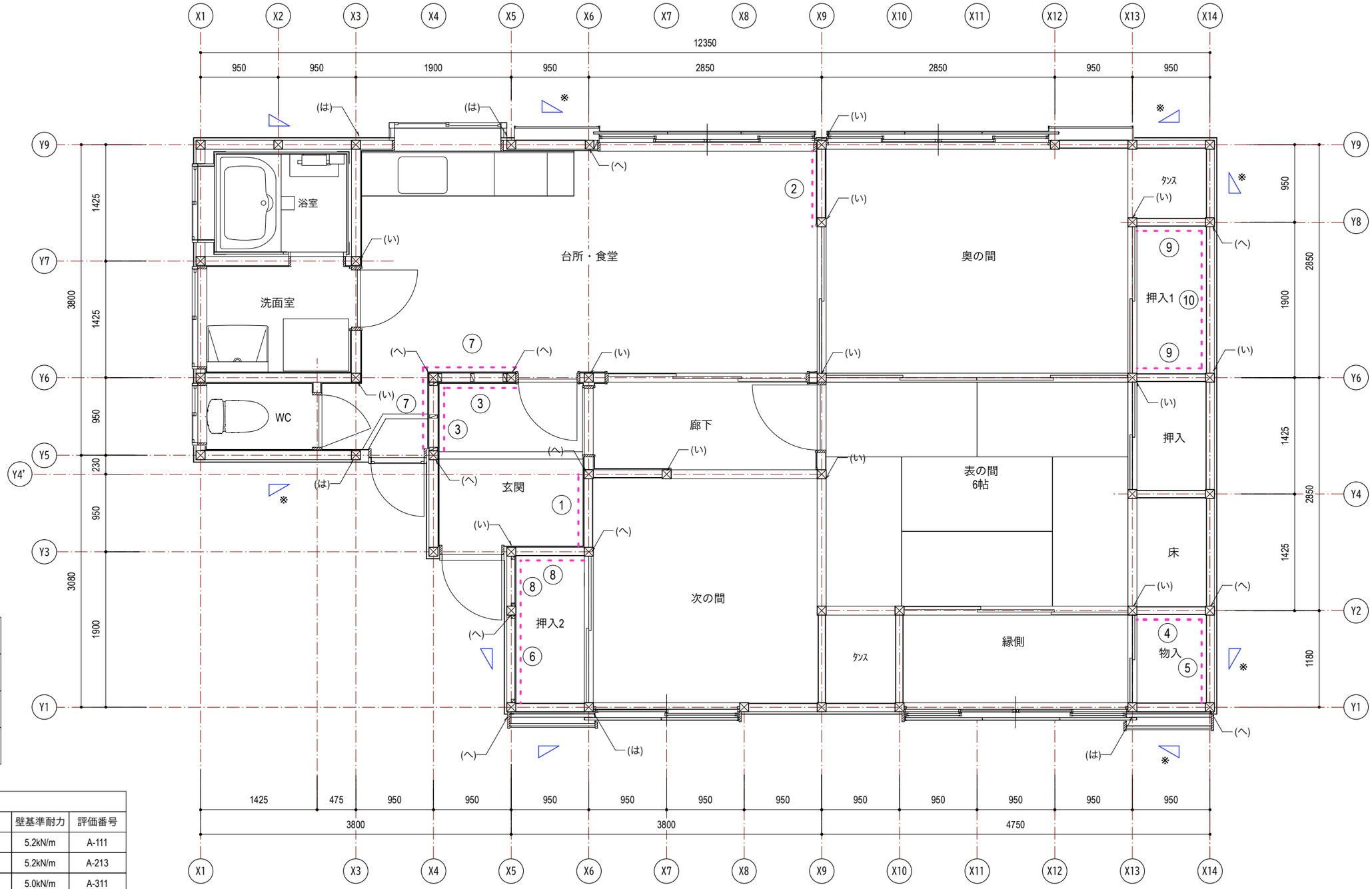
仕上記号表（改修）	
a	VC貼 / GB-R9.5張 / 既存木下地
b	VC貼 / GB-R9.5張 / 野縁45*45@455杉
c	耐水合板t =5.5張 / 野縁45*45@455杉
1*	VC貼替え / 既存下地

・ * は、既存下地を再利用、仕上げのみを貼替える

凡例	
	天井裏　断熱材敷込み範囲を示す

天井裏断熱材：高性能ｸﾞﾗｽｳｰﾙ断熱材14K 厚155（熱抵抗値　R=4.1）
/ 防湿ﾌｨﾙﾑ張り

鈴江章宏建築設計事務所	一級建築士事務所 高知県知事登録1133号	管理建築士　鈴江 章宏 一級建築士 第312930号	神野　崇 一級建築士 第293221号		project 空き家改修工事（松岡邸）	title　改修　天井伏図 date	scale 1:50	no. A31



凡例

	既存筋かいを示す　60＊90
※	想定による既存筋かいを示す 60＊90（未確認箇所）
符号	構造用合板補強箇所を示す
（　）	柱頭柱脚金物取付 （　）は告示記号を示す

構造用合板補強工法ﾘｽﾄ

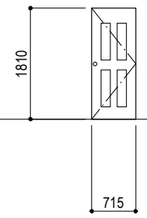
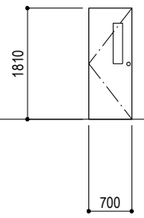
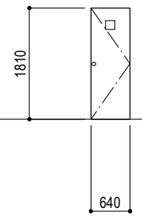
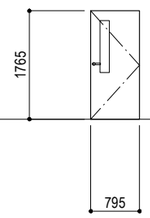
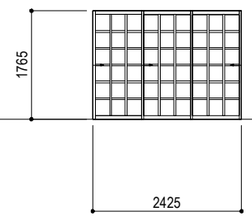
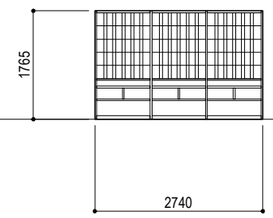
符号	仕様	壁基準耐力	評価番号
1	t=9　大壁直貼（標準）	5.2kN/m	A-111
2	t=12　大壁仕様（裏桟なし）	5.2kN/m	A-213
3	t=9　真壁仕様（標準）	5.0kN/m	A-311
4	t=12　真壁仕様（裏桟なし）	5.2kN/m	A-413
5	t=12　真壁仕様（1間　裏桟あり）	4.68kN/m	A-422
6	t=12　真壁仕様（1間　ｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ下地）	2.08kN/m	A-426
7	t=12　真壁仕様（上下あき　裏桟あり）	5.2kN/m	A-432
8	t=12　真壁仕様（上下あき　ｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ下地）	4.16kN/m	A-433
9	t=12　真壁仕様（長押　ｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ下地）	3.64kN/m	A-455
10	t=12　真壁仕様（1間　長押　ｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ下地）	1.3kN/m	A-485

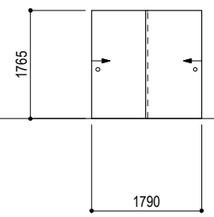
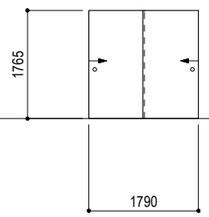
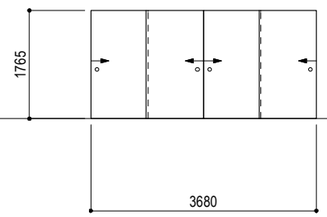
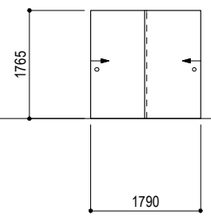
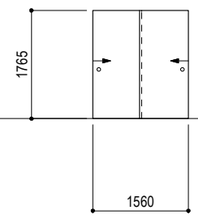
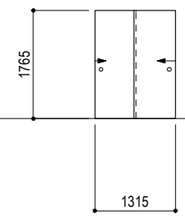
【特記事項】

・補強工法は、愛知県建築地震災害軽減ｼｽﾃﾑ研究協議会の「木造住宅 低ｺｽﾄ 耐震補強の手引き 2026年度版」によるものとする。

・想定による既存筋かいについては、施工前に現地確認を行い現況を報告すること。
現況が図面と相違する場合は、監督員と協議の上、補強方法を決定とする。

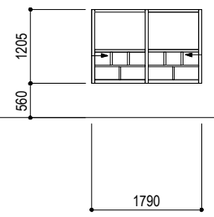
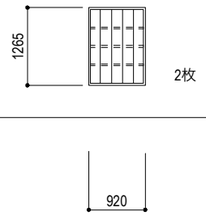
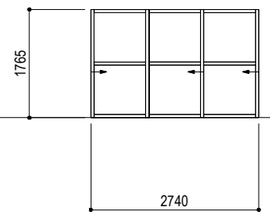
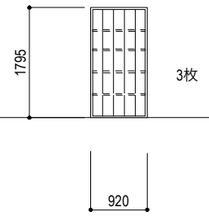
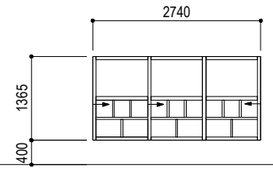
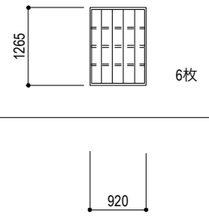
鈴江章宏建築設計事務所	一級建築士事務所 高知県知事登録1133号	管理建築士　鈴江 章宏 一級建築士 第312930号	神野　崇 一級建築士 第293221号		project 空き家改修工事（松岡邸）	title 耐震補強　平面図 date　scale 1:50	no. A32

記号	室名	数量	姿図	仕様	見込	材質	仕上	金物	硝子	備考
WD 01	食堂・台所	1		片開きﾌﾗｯｼｭ戸（窓付）	30	化粧合板張		蝶番、ﾄﾞｱﾉﾌﾞ空錠	型ｶﾞﾗｽ	
WD 02	洗面室	1		片開きﾌﾗｯｼｭ戸（窓付）	30	化粧合板張		蝶番、ﾄﾞｱﾉﾌﾞ空錠	型ｶﾞﾗｽ	
WD 03	WC	1		片開きﾌﾗｯｼｭ戸（窓付）	30	化粧合板張		蝶番、ﾄﾞｱﾉﾌﾞ空錠	型ｶﾞﾗｽ	
WD 04	廊下	1		片開きﾌﾗｯｼｭ戸（窓付）	30	化粧合板張		蝶番、ﾄﾞｱﾉﾌﾞ空錠	型ｶﾞﾗｽ	
WD 05	食堂・台所	1		3枚建引き違い框戸	30	桧			型ｶﾞﾗｽ	
S 01	縁側	1		3枚建引き違い障子		桧				【改修】障子紙貼替え

記号	室名	数量	姿図	仕様	見込	材質	仕上	金物	硝子	備考
F 01	次の間	1		引き違い襖	24	襖紙		襖引手		【撤去処分】
F 02	次の間、奥の間	2		引き違い襖	24	襖紙		襖引手		【改修】襖紙貼替え
F 03	奥の間	1		4枚建引き違い襖	24	襖紙		襖引手		【改修】襖紙貼替え
F 04	奥の間	1		引き違い襖	24	襖紙		襖引手		【改修】襖紙貼替え
F 05	表の間	1		引き違い襖	24	襖紙		襖引手		【撤去処分】
F 06	表の間	1		引き違い襖	24	襖紙		襖引手		【改修】襖紙貼替え

建具工事特記事項

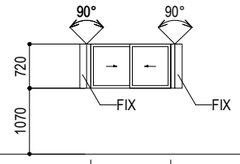
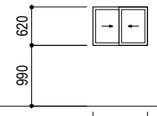
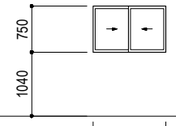
鈴江章宏建築設計事務所	一級建築士事務所 高知県知事登録1133号	管理建築士　鈴江 章宏 一級建築士 第312930号	神野　崇 一級建築士 第293221号	project 空き家改修工事（松岡邸）	title 現況・改修　木製建具表（1）	no. A33
					date / scale 1:100	

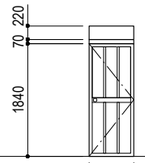
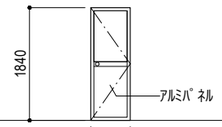
記号	室名	数量	姿図	仕様 見込	材質 仕上	金物	硝子	備考
WW 01	次の間_屋外	1		引き違い框ガラス戸 24	桧	戸車 甲丸ﾚｰﾙ	透明ｶﾞﾗｽ、下部は型ｶﾞﾗｽ	【撤去処分】
				雨戸 24	桧　鏡板は杉	戸車 甲丸ﾚｰﾙ		【撤去処分】
WW 02	表の間_屋外	1		3枚建引き違い框ガラス戸 24	桧	戸車 甲丸ﾚｰﾙ	透明ｶﾞﾗｽ、下部は型ｶﾞﾗｽ	【撤去処分】
				雨戸 24	桧　鏡板は杉	戸車 甲丸ﾚｰﾙ		【撤去処分】
WW 03	奥の間_屋外	1		3枚建引き違い框ガラス戸 24	桧	戸車 甲丸ﾚｰﾙ	透明ｶﾞﾗｽ、下部は型ｶﾞﾗｽ	【撤去処分】
				雨戸	桧　鏡板は杉	戸車 甲丸ﾚｰﾙ		【撤去処分】

記号	室名	数量	姿図	仕様 見込	材質 仕上	金物	硝子	備考

建具工事特記事項

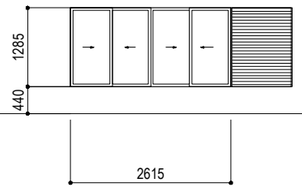
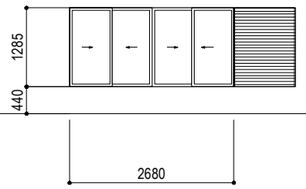
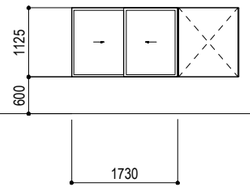
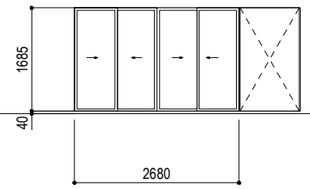
鈴江章宏建築設計事務所	一級建築士事務所 高知県知事登録1133号	管理建築士　鈴江 章宏 一級建築士 第312930号	神野　崇 一級建築士 第293221号	project 空き家改修工事（松岡邸）	title 現況・改修　木製建具表（2）	date / scale 1:100	no. A34

記号	室名	AW 01	食堂・台所	AW 02	食堂・台所	AW 03	浴室	AW 04	洗面室	AW 05	WC		
	数量		1		1		1		1		1		
姿図													
			2590		1300		890		1190		770		
仕様	見込	引き違い窓（4枚）		引き違い+FIX 出窓		引き違い窓		引き違い窓		引き違い窓			
材質	仕上	ｱﾙﾐｶﾗｰ（ﾒｰｶｰ色）		同左		同左		同左		同左			
金物		ｸﾚｾﾝﾄ、その他付属金物一式		ｸﾚｾﾝﾄ、その他付属金物一式		ｸﾚｾﾝﾄ、その他付属金物一式		ｸﾚｾﾝﾄ、その他付属金物一式		ｸﾚｾﾝﾄ、その他付属金物一式			
硝子		透明ｶﾞﾗｽ		透明ｶﾞﾗｽ		型ｶﾞﾗｽ		型ｶﾞﾗｽ		型ｶﾞﾗｽ			
備考		【撤去処分】		【改修】複層ｶﾞﾗｽ FL3+A6+FL3（ｱﾀｯﾁﾒﾝﾄ付）入替				【改修】複層ｶﾞﾗｽ FL3+A6+F4（ｱﾀｯﾁﾒﾝﾄ付）入替					
				FIX部分：既存ｶﾞﾗｽ　遮熱ﾌｨﾙﾑ貼り									

記号	室名	AD 01	玄関	AD 02	勝手口								
	数量		1		1								
姿図													
			730		640								
仕様	見込	片開きﾄﾞｱ		片開きﾄﾞｱ									
材質	仕上	ｱﾙﾐｶﾗｰ（ﾒｰｶｰ色）		同左									
金物		ﾄﾞｱﾉﾌﾞ、ｼﾘﾝﾀﾞｰｻﾑﾀｰﾝ錠、その他付属金物一式		ﾄﾞｱﾉﾌﾞ、ｼﾘﾝﾀﾞｰｻﾑﾀｰﾝ錠、その他付属金物一式									
硝子				型ｶﾞﾗｽ									
備考				【改修】複層ｶﾞﾗｽ FL3+A6+F4（ｱﾀｯﾁﾒﾝﾄ付）入替									

建具工事特記事項
金属製・木製　共通事項
・建具寸法は概略を示すもので、製作にあたっては、現場寸法を確認の上
施工図を作成し、係員の承認を受けて製作する。
・姿図の寸法は内法寸法を示す。

鈴江章宏建築設計事務所	一級建築士事務所 高知県知事登録1133号	管理建築士　鈴江 章宏 一級建築士 第312930号	神野　崇 一級建築士 第293221号		project	空き家改修工事（松岡邸）	title	現況・改修　金属製建具表	no.	A35
							date	scale 1:100		

記号	室名	数量	姿図	仕様 見込	材質 仕上	金物	硝子	備考
AW 101	食堂・台所	1		雨戸付引き違い窓（4枚）	ｱﾙﾐｶﾗｰ（ﾒｰｶｰ色）	ｸﾚｾﾝﾄ、その他付属金物一式	複層ｶﾞﾗｽ　FL3+A12 +FL3	雨戸（3枚）、ｽﾗｲﾄﾞ網戸
AW 102	奥の間	1		雨戸付引き違い窓（4枚）	同左	ｸﾚｾﾝﾄ、その他付属金物一式	同左	雨戸（3枚）、ｽﾗｲﾄﾞ網戸
AW 103	次の間	1		雨戸付（鏡板なし）引き違い窓	同左	ｸﾚｾﾝﾄ、その他付属金物一式	同左	雨戸（2枚）、ｽﾗｲﾄﾞ網戸
AW 104	表の間	1		雨戸付（鏡板なし）引き違い窓（4枚）	同左	ｸﾚｾﾝﾄ、その他付属金物一式	複層ｶﾞﾗｽ　FL5+A12 +FL5	雨戸（3枚）、ｽﾗｲﾄﾞ網戸

記号	室名	数量	姿図	仕様 見込	材質 仕上	金物	硝子	備考

建具工事特記事項

金属製・木製　共通事項

・建具寸法は概略を示すもので、製作にあたっては、現場寸法を確認の上
施工図を作成し、係員の承認を受けて製作する。
・姿図の寸法は内法寸法を示す。

金属製建具

・住宅用ｻｯｼは（　ｴﾋﾟｿｰﾄﾞII NEO/YKK、ｻｰﾓｽA/LIXIL、ﾏﾃｨｵJ/三協ｱﾙﾐ　）同等品とする。
・ｻｯｼ寸法は現場合わせとし、現況を実測の上決定とする。

鈴江章宏建築設計事務所	一級建築士事務所 高知県知事登録1133号	管理建築士　鈴江 章宏 一級建築士 第312930号	神野　崇 一級建築士 第293221号	project 空き家改修工事（松岡邸）	title 改修　金属製建具表（新設ｱﾙﾐｻｯｼ）	date / scale 1:100	no. A36